

第二十五回 帝國議會 貴族院議事速記録第十六號

明治四十二年三月十七日(水曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十六號 明治四十二年三月十七日

午前十時開議

- 第一 砂糖消費稅法中改正法律案兩院協議委員ノ選舉
- 第二 明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)
- 第三 明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)
- 第四 貴族院令中改正案(政府提出)
- 第五 砂鑛法案(政府提出案)
- 第六 登錄稅法中改正法律案(政府提出案)
- 第七 明治四十一年法律第九號中改正法律案(政府提出案)
- 第八 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出案)
- 第九 裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案(衆議院提出)
- 第十 辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案(衆議院提出)
- 第十一 狩獵法中改正法律案(衆議院提出)
- 第十二 東京都制案(男爵松平正直君外五名發議)
- 第十三 千代田縣設置ニ關スル法律案(男爵松平正直君外五名發議)
- 第十四 東京都千代田縣組合法案(男爵松平正直君外五名發議)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔宮田書記官朗讀〕

一昨十五日日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可

貴族院議事速記録第十六號

明治四十二年三月十七日

議長ノ報告

決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

造船獎勵法中改正法律案

遠洋航路補助法案

同日本院ニ於テ議決シタル衆議院提出印紙稅法中改正法律案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

同日本院ニ於テ修正議決シタル衆議院提出砂糖消費稅法中改正法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

同日本院ニ於テ議決シタル國勢調查施行ノ準備ニ關スル建議ハ文書ヲ以テ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
明治四十一年法律第九號中改正法律案特別委員會

委員長 男爵辻 新 次君 副委員長 伊澤 修二君
軌道ノ抵當ニ關スル法律案、擔保附社債信託法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君 副委員長 男爵北垣 國道君
立木ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵柳澤 保惠君 副委員長 富井 政章君
狩獵法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵川 村鐵太郎君 副委員長 男爵伊達 宗敦君
東京都制案、千代田縣設置ニ關スル法律案、東京都千代田縣組合法案特別委員會

委員長 男爵松平 正直君 副委員長 西村 亮吉君
同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

砂鑛法案可決報告書

登錄稅法中改正法律案可決報告書

明治四十一年法律第九號中改正法律案可決報告書

狩獵法中改正法律案可決報告書

東京都制案可決報告書
千代田縣設置ニ關スル法律案可決報告書
東京都千代田縣組合法案可決報告書
同日狩獵法中改正法律案特別委員會ノ報告ニ對シ委員伯爵川村鐵太郎君外三名ヨリ少數者意見ヲ提出セリ

昨十六日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

北海道拓殖銀行法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵柳原 義光君 副委員長 富田 鐵之助君

種痘法案、醫師法中改正法律案、齒科醫師法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵大炊御門幾磨君 副委員長 子爵實吉 安純君

明治四十年年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)明治四十年年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)明治四十年年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)明治四十年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)明治四十年年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)明治四十年年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

委員長 伯爵大木 遠吉君 副委員長 子爵伏原 宣足君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)修正報告書

明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)可決報告書

北海道拓殖銀行法中改正法律案可決報告書

軌道ノ抵當ニ關スル法律案可決報告書

擔保附社債信託法中改正法律案可決報告書

同日政府ヨリ貴族院令中改正案ヲ提出セリ

同日政府ヨリ貴族院令中改正案ハ緊急事件トシテ議決スルコトヲ請求スル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル衆議院提出砂糖消費稅法中改正法律案ハ本院ノ修正ニ同意セサルコトヲ議決シタルヲ以テ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求スル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ砂糖消費稅法中改正法律案協議委員ノ數ヲ十名ト爲スコトニ定メタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

耕地整理法改正法律案

特許法改正法律案

意匠法改正法律案

商標法改正法律案

實用新案法改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

獸疫豫防法中改正法律案

蠶病豫防法中改正法律案

貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、砂糖消費稅法中改正法律案兩院協議委員ノ選舉、唯今報告ノゴザイマシタ通り衆議院ニ於テハ協議委員ノ數ヲ十名ト定メタ趣デアリマス、是ヨリ此選舉ヲ行ヒタク存ジマス

○田中芳男君 此特別委員ト云フモノハ別段ニ議長カラ御選ヒニナルコトガ〔聽取シ難シ〕左様ニ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) モウ少シ大キイ聲デ願ヒタイ

○田中芳男君 此選舉ハ議長ニ願ヒタイト思ヒマスガ、サウナリマスレバ、エライ都合ガ宜イト思ヒマス

○伯爵正親町實正君 贊成イタシマス

〔其他〕贊成「ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 田中君ノ兩院協議委員ノ選定ハ議長ニ一任スルト云フコトデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官朗讀〕

砂糖消費稅法中改正法律案兩院協議委員

伯爵寺 島誠一郎君 子爵加納 久宜君 男爵奈良原 繁君

江木 千之君 男爵武井 守正君 男爵吉川 重吉君

男爵毛利 五郎君 谷森 眞男君 室田 義文君

澤原 俊雄君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案、第一號、第三、明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案、特第一

號、會議、委員長報告、豫算委員長會我子爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

一明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)
右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十六日

豫算委員長

子爵 會我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

〔別冊〕

〔委員會ノ修正ニ係ル部分ノミヲ載録ス
小字ハ修正、ハ同削除ノ符號〕

豫算

第一條 明治四十二年度歳入歳出追加額ヲ各百七萬八千貳百四拾貳圓ト定ム其款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

甲 號

歳入臨時部

第十二款 前年度繰入金

八拾貳萬八千貳百四拾貳圓
金八拾七萬八千貳百四拾貳圓

第一項 前年度繰入金

八拾貳萬八千貳百四拾貳圓
金八拾七萬八千貳百四拾貳圓

歳入臨時部合計金百七萬八千貳百四拾貳圓

歳出經常部

大藏省所管

第四款 内 閣 金五萬圓

第八項 機 密 費 金五萬圓

歳出總計金百七萬八千貳百四拾貳圓

一明治四十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院決議案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

豫算委員長

子爵 會我 祐準

〔子爵會我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵會我祐準君 明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案第一號、此案ノ豫算委員會ノ結果ヲ報告イタシマス、本案ハ豫算委員會ニ付託ニナリマシタノハ三月十日デアリマシタガ、即日委員會ヲ開キマシテ各分科ニ調査ヲ託シマシタ、昨十六日ニ再ビ總會ヲ開キマシテ、サウシテ關係主査ノ報告ヲ致サセマシタ、第一分科主査ハ左ノ通り報告ヲ致シマシタ、歳出經常部大藏省所管第四款内閣金五萬圓ト云フ所、第八項同ジコトデ機密費金五萬圓トアリマス、是ハ否決ヲシタ趣ニ分科主査ハ報告ヲ致シマシタ、其理由ハ甚ダ單簡デアリマス、且ツ明瞭デアリマス、本案ニ付イテハ政府委員ニ色々質問ヲシタ、質問ヲシタ所ガ其理由ガ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居ル、元來機密費ノ増額ヲ追加豫算デ求メラル、ト云フコトハ如何デアラウカ、諸君御承知ノ通り會計法第五條ニ追加豫算ト云フモノハ必要缺クベカラザルモノニ限ツテ、請求スルコトガアル、然ルニ何モドウモ必要缺クベカラズト云フ程ノ理由ノ説明ヲ得ナイ、且ツ昨年モ内閣ノ機密費ハ増加ニナツテ今年モ復タ増加ニナルト云フ譯デアラカラ何ゾ理由モアラウカト云ツテ、普通ノ委員會デ承ルコトガ出來ヌナラバ祕密會ヲ開イテ承リタイト云フコトマデモ第一分科デハ請求シマシタケレドモ、別段コレト云フコトヲ聞得ナカッタ、シテ見ルト必要缺クベカラザルモノトシテ賛成スル程ノ理由ヲ見出サナイ、右様ナ次第分科會ニ於テ決ヲ探ツタ所ガ、七人ノ出席者デアッタ、一ニ對スル六ノ多數デ否決シタ、斯様ナ報告デアリマシタ、總會ニ於キマシテハ即チ分科會ノ削減シタ所ノ案ヲ議題トシテ議シマシタ、本豫算會ニ於テハ之ニ對シマシテ別段、一ノ質問モ無ク一ノ議論モ無ク、即チ第一分科主査ノ報告ノ通り第四款第八項ノ機密費金五萬圓ト云フモノハ削除スルト云フコトニ決シマシタ、其結果トシマシテ合計ノ所、若クハ「豫算」ノ第一條ノ所ノ數字ノ改正ガアリマスガ、是ハ當然ノ結果デアリマス、即チ茲ニ差出シマシタ様ナ譯ニナリマスノデアリマス、諸君ノ御手許ニ差出シマシタ様ナ修正ナルノデアリマス、右ノ外ハ原案通り乙號トモ可決イタシマシタ、ソレカラ又特別會計ノ特第一號、之ニ付キマシテモ原案通り何等異議ナク可決イタシマシタ、此段報告ヲ致シマス

○男爵伊達宗敦君 チョット委員長ニ御尋ネシタイコトガアル、唯今ノ御報告ハ承リマシタガ、内閣機密費五萬圓ト云フモノニ付イテ第一分科會ニ於テ否決サレタ、其理由ハ詰リ會計法ノ第五條ニ「必要避クヘカラサル」ト云フコトガアル、ソレデアアルカラ此必要ト云フ點ヲ見出ダスコトガ出來ヌナラバ之ヲ可決スルコトガ出來スト云フ様ナ意味ニ伺ッタノデアリマス、ソレガ如何デアリマスカ、其他ニハ御質問ガアリマセヌデシタカト云フコトガ承リタイ、ソレカラ分科會及豫算總會ニ、之ニ對シテ政府大藏大臣カラ何カ説明デモアリマシタデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、唯今ノ御言葉デ見マスト豫算總會ニ於テ一ノ質問モ無シ議論モ無カッタト云フコトデアリマスカラ、恐ラクハ説明モ無カッタト本員ハ思ヒマスガ、其點モ一應確メテ置キマス

○子爵曾我祐準君 第一ノ御問ニ對シマシテハ、少シ或ハ違ヒマスカモ知レマセヌガ、一番ノ趣意ハ費用ノ必要ノコトヲ問ヒマシタケレドモ、其必要ノコトヲ聞キ出サナイ、ソレデ賛成スル程ノ理由モ無イカラ、先ヅ理由ナイモノト委員ハ見タ、理由ガ分ラナイ、理由ガ合點ガ行カナイ、是ガ一番ノ趣意デ、ソレデ會計法第五條トノ關係モ無論アリマス、ソレカラ第二ノコトハ丁度御説明ノ通りデ、伊達男爵ハ御覽ニナッテ居リマシタカラ、能ク御承知ト思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ之ニ付イテ簡單ニ述ベタイコトガアリマスガ、ドウカ滿場ノ諸君モ極ク簡單デアリマスカラ、一應御聽キヲ願ヒタイ、唯今豫算委員長ノ曾我子爵カラ御報告ニナリマシタ所ノ此内閣機密費五萬圓ト云フモノハ必要ト云フ理由ヲ見出ダスコトガ出來ナカッタカラ否決シタト云フ御報告デアリマシタ、是ハ第一分科會デアリマスガ、豫算總會ニ於キマシテハ曾我子爵ノ述ベラレタル如ク、昨日ハ熱心ニ本員ハ傍聽ヲ致シテ居ッタノデアリマス、故ニ「確ニ」ト云フ言葉ヲ使ハウト思ヒマス、然ルニ此機密費五萬圓ト云フモノニ付イテハ私ハ諸君ニ向ッテ如何ナルモノデアルト云フ内容ハ申シマセヌ、決シテ申スニ及バナイ、是ハ此滿場ノ諸君ハ御存ジノコト、思ヒマス、又コ、デ内容ヲ御話スルト云フコトハ少シク本員ハ憚リタイト思ヒマスカラ、實ハ申シマセヌガ、本員ハ此機密費ト云フモノニ付イテハ絶對的ニ反對ノ意見ヲ有ッテ居ル、其理由ヲ簡單ニ述ベマス、其理由ト申スモノハ斯ノ如キモノヲ協賛スレバ、誠ニ失禮ナ申シ分カ知ラヌガ、立法府ノ神聖ト云フモノガ缺ケルノデアアル、獨立ト云フコトガ毀ハレルト本員ハ信ジマス、

故ニ何卒滿場ノ諸君ニ於テハ一人ノ起立者ナクシテ之ヲ否決サレムコトヲ本員ハ熱心ニ希望イタシマス、尙ホ終リニ臨ンデ一言ヲ致シテ置キマス、是ハ少シク餘計ナコトカモ知レナイガ、若シ本院デ之ヲ否決スルコトニナリマスト、必ズヤ衆議院ト協議會ヲ開カナケレバナラスコトニナル、其場合ニ本院デ不當ト認メテ否決ヲシタモノハ其協議會ニ於テ一步モ譲ルコトハ出來スト云フコトヲ私ハ確言シテ置キマス、是ハ名義ガ變ハルナラバイザ知ラズ、機密費ト云フコトデアアルナラバ一步モ譲ルコトガ出來ナイ、若シ其場合ニ名義ヲ變ヘズシテ機密費ト云フ名義デ衆議院ニ譲ルト云フコトナラバ、寧ロ今日涙ヲ吞ンデ茲デ可決ヲスル方ガ本院ノ體面ニ於テ宜シイト思ヒマス、是ダケヲ私ハ述ベテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言モ無イト認メマスカラ、採決ヲ致シマス、明治四十二年度歳入歳出總豫算追加案第一號ノ甲號歳入經常部大藏省所管第四款第八項、之ヲ東ネテ問題ニ供シマス、第四款第八項、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 原案賛成者ハ一人モゴザイマセヌ、故ニ削除セラレタモノト認メマス、残り全部ヲ問題ニ供シマス、残り全部、豫算委員長報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、次ハ乙號ニ移リマス、乙號全部ヲ問題ト致シマス、全部豫算委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ明治四十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、是ハ全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、貴族院令中改正案、政府提出、會

議……本日ハ總テ議案ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

〔左ノ提出文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

貴族院令中改正案

右

勅旨ヲ奉シ貴族院ニ提出ス

明治四十二年三月十六日

内閣總理大臣兼 大藏大臣	侯爵桂 太郎
陸軍大臣	子爵寺内 正毅
外務大臣	伯爵小村 壽太郎
海軍大臣	男爵齋藤 實
內務大臣	法學博士男爵平田 東助
農商務大臣	男爵大浦 兼武
逓信大臣	男爵後藤 新平
文部大臣	小松原英太郎
司法大臣	子爵岡部 長職

貴族院令中改正案

貴族院令中左ノ通改正ス

第四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項議員ノ數ハ伯爵十七人以内、子爵七十人以内、男爵六十三人以内トシ各爵其ノ總數ノ五分ノ一ヲ超過スヘカラス

〔國務大臣侯爵桂太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(侯爵桂太郎君) 唯今議場ニ上ボッテ居リマスル所ノ貴族院令改正ノ件ニ付キマシテ議事ニ掛リマス前ニ一言申述ベテ置クノ必要ガアルト考ヘマス、抑、諸君モ御承知ノ如ク此案ハ明治三十八年ニ一旦改正ニナリマシタ其當時、貴族院ノ定員ヲ決メラレマシテ、其内部ニ於キマシテハ按分比例ヲ以テト云フコトニ決定ヲ致サレマシタノデゴザイマス、然ルニ此定員ガ決マリマシテ其内部ニ於キマシテ此按分比例ト云フコトニナリマシテ居リマス

ル以上ハ、將來ニ於キマシテ各爵ノ間ニ於キマシテ甚ダ不平均ヲ生ズル虞レガアリマスルト存ジマスニ依リマシテ、政府ハ其當時モ定員ヲ決メマシテ、且ツ内部ニ於キマシテモ其現員ヲ以テ決定ニナリタイト云フ案ヲ提出イタシタノデゴザイマス、然ルトコロ不幸ニモ政府ノ意ハ容レラレマセズシテ、按分比例トナリマシタ次第デゴザイマスガ、尙ホ之ヲ熟考イタシマスルニ、ドウシテモ現在ノ儘デゴザイマスルト、將來此定員内部ニ於キマシテ不公平ヲ生ズルト云フコトノ虞レガ……、尙ホ將來ニ甚ダ遺憾トスル所ガ多イト考ヘラレマスノデゴザイマス、依ッテ此度定員ニ七人ヲ男爵議員ノ方ヘ加ヘマシテ、サウシテ從來ノ伯爵男ノ定員ハ其儘ニ据置カレルト云フコトニ決定相成リマシテ此案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、ドウカ案ハ諸君ノ御手許ニ上ボッテ居リマスル次第デゴザイマスガ、政府ノ此改正ヲ必要ト致シマシテ、奏請ヲ致シテ提出ヲ致シマシタ所ノ趣意ハ茲ニゴザイマスノデ、ドウカ諸君宜シク御考慮ヲ下サレマシテ御審議ノ上、御協賛アラムコトヲ偏ニ希望イタシマスル次第デゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 總理大臣ノ御説明モアリマシタガ、少シ十分ニ意味ヲ了解シ兼ネマシタガ、實ハ此案ハ今朝受取ッタバカリデアリマシテ熟考スル暇ガ無イノデアリマス、案ニ書イテアルコトハ誠ニ簡單デ「伯爵十七人以内、子爵七十人以内、男爵六十三人以内」ト云フダケデアルカラ誠ニ簡單デアリマスケレドモ、此改正ヲスル必要ト云フコトニ付イテ、マダ私ナドハ熟考スル暇ガ更ニ無イ、其上ニ唯今ノ御説明ニ依ッテ見ルト男爵ハ七名ヲ増加スルト云フヤウニ御述べニナッタヤウニ承リマシタガ、或ハ聽違ヒカモ知レマセヌガ、サウ承リマシタ、ソレデ全體此前ノ三十八年ノ三月ノ改正ニナッタト云フモノハ、申サバ此伯爵男爵ト云フモノ、選舉ニ付イテ相當ノ輪廓ヲ設ケテアル、假ニ輪廓ト例ヘマスガ、其範圍ノ中ニ於テ按分比例ヲ以テ選舉スルト云フ、三爵ヲ通ジテ百四十三人ト云フモノヲ選舉シテ、伯爵ガ殖エルトカ子爵ガ減ルトカ男爵ガ減ルトカ云フトキハ、俗ニ申ス遺算算段ヲシテ按分比例デ行クト云フコトニナッタ、今度ノ改正デ見マスルト伯爵ガ……計算ヲ誤ッテ居ルカ知レマセヌガ、誤ッテ居ッタラ委シイ諸君カラ御訂正ヲ願ヒマスガ、伯爵ガ百一、子爵ガ三百七十七、男爵ガ三百七十八ト覺エテ居リマス、ソレデ間違ッテ居ルナラバ、ドナタカラ御訂正ヲ願ヒマス、其數カラ割出シテ五分ノ一以上ヲ超過スベカラズト云フコトニナリマス、唯今申シマシタ輪廓

ヲ作ッテアル其中ノ百四十三ト云フモノハ根柢カラ崩レテ仕舞フノデアル、前ノ選舉ニ戻ッテ來テ、三十八年ニ改正ニナッタコトハ既ニ取除ケニナッテ仕舞ッテ、マルデ變ッテ仕舞フ、ソコデ伺ヒタイノデスガ、委員ニ付託サル、コトデアラウト思ヒマスカラ、委員會ニ出席シテ御尋ネシテモ宜シイト思ヒマスルガ、此ノ元ガ多イニモ拘ラズ按分比例等ヲヤラズニ男爵議員唯七人ヲ増スト云フコトダケニスルト云フ御趣意ガ、ドウモ能ク解シ兼ネル、ソレカラモウ一ツハ今日之ヲ改正シナケレバナラナイト云フ必要ガアルト云フコトヲ御述ベニナリマシタケレドモ、三十八年三月ニ改正シタ以來、未ダ伯爵男爵ニ於テハ一回ノ總選舉モナクッテ、何所ガ是デハ困ルト云フコトモ、サッパリ見出ダスコトハ出來ナイ、總理大臣ハ必要ト言ハレルカモ知レヌケレドモ、我々ニ於テハドウモ何所ガ惡ルイト云フコトモ見出シ兼ネル、要スルニ三十八年ノ改正ト云フモノハ政府カラ提出シタノヲ修正シテ斯ウナッタ、ソレガ通過シテ貴族院令ノ改正ト云フモノガ成立ッタノデアル、ドウモ本員ハ男爵ニ於テ七人ヲ増スト云フコトガ分ラスノト、輪廓ヲ破ッテ外へ出ルト云フコトニシタノガ分ラナイ、ドウカ其所ヲ總理大臣デナクッテモ宜シイカラ、分ル人カラ御答ヲ願ヒタイ

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今、伊達男爵カラノ御尋ネデゴザイマシタガ、七人増シタノハドウ云フ理由デアルカ、輪廓ヲ破ッタノハドウ云フ譯カト云フ御尋ネデゴザイマス、此標準ヲ決メマスト云フコトハ、實ニムヅカシイコトデゴザイマシテ、何ヲ以テ標準トスルカト云フコトノ適當ナル標準ト云フコトハ何人ニテモ之ヲ明言スルコトハ出來マスマイト思ヒマス、詰リ現行ノ現在ノ儘ヲ押ヘルノガ一番適當デハナカラウカ、一番穩カデアラウト云フ政府ノ意見デゴザイマス、ソレニ依ッテ伯爵ハ元ノ通りデゴザイマス、子爵モ元ノ通りデゴザイマス、併シ男爵ニ七人増シマシタト云フ理由ハ、今現行ノ輪廓ニ依リマシテ、サウシテ按分比例割出シマシタ時分ニハ、丁度男爵ノ數ガ六十三人ト云フコトニナリマスノデ、之ヲ現行ノ儘ニ据置クト云フコトハ矢張り穩カデアアルマイト云フ所ノ考カラシテ、之ヲ七人増シマシテ六十三人ニ致シタ譯デアリマス、其七人殖エマシタ爲ニ從ッテ輪廓ガ破レルト云フコトニナリマスノハ、是ハ已ムヲ得ナイ次第ドラウト思ヒマス、是ダケノコトヲ申上ゲマシテ何レ委シイコトハ委員會デ申上ゲルコトニ致シマス

○男爵伊達宗敦君 イヤ、委員會デナク、チヨット演壇ニ待ッテ居テ下サイ、委員會デハ勿論委シク伺ヒマスケレドモ、是ハ事ニ依ッタラ政府ト私ノ議論ガ根柢カラ違ッテ居ルカラ斯ウ云フ疑ヒガ起ッテ來ルカモ知レマセスガ、現行法ノ適當デアルト云フ御言葉ガアッタ、現行法ト云フモノハ今ノ輪廓ガアッテ百四十三人ト云フモノヲ置イテ、其中ヲ按分比例割出ルト云フノデアアル、今ノハ輪廓カラ外へ出ルノデス、一體此選舉ト云フモノハ私ナド考ヘル所デハ選舉者ハ子爵トカ伯爵トカ男爵トカ云フモノ、頭數ニ依ッテ割出スト云フコトガ公平デハナイカト思フ、總テ人口多數ノモノ、中カラ議員ヲ選ブトカ、衆議院議員ノ選舉ニシテモ總テソレカラ割出シテ居ルト思フ、ソレニ拘ラズニ殖エヤウガドウナラウガ宜イ加減ニ決メテ、子爵ガ七十人、男爵ガ六十三人ト云フヤウニ決メテ置クト云フコトハ、ドウモチトラカシイヤウニ思ヒマス、併シハ政府ト私トノ議論ガ合ハスカラ根柢ガ違フト云フコトヨリ、サウ云フ違ヒガ出ルカト思ヒマス、御面倒デセウガ、モウ一遍其所ヲ……

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今申上ゲマシタノハ現行法ニ據ルト云フ譯デアリマセス、現在ノ所ヲ押ヘルノガ一番穩當デアラウト云フ、斯ウ云フ意味デアリマス、現行法ニ據ルト云フ意味デアリマセス、ソレカラ議論ノ根柢ノコトニナリマスレバ是ハ御説ガ岐ルレバ誠ニ已ムヲ得ナイ次第デゴザイマスルガ、政府ノ意見ハ詰リ他ノ理由ニ依ッテ或ル團體ガ其團體ソレ自身ノ理由ニ依ッテ其議員ノ數ニ増減ヲ來タスノハ已ムヲ得ナイ次第デアリマセウガ、他ノ團體ノ増加ノ爲ニ自己ノ團體ハ何等ノ變更モ無クシテ、サウシテ議員ノ數ガ減ルト云フコトハ穩カデナイト考ヘテ居ルノデ、是ハ議論ニ涉リマスカラ餘リ委シクハ申上ゲマセス

○男爵尾崎三良君 本員モチヨット質問イタシタウゴザイマス、先刻桂總理大臣ノ御演說半バニ來マシタノデ十分ニ聴エマセナカッタガ、抑、此度ノ改正ト云フモノハ、ドウ云フ理由デ斯ウ云フ必要ガアルノカ、ドウモ了解シ兼ネルノデアリマスガ、是ハ明治三十八年デゴザイマシタカ、議員ノコトニ付イテ政府カラ改正案ガ出マシテ、ソレカラ非常ナ雙方ノ議論ガアリマシテ、遂ニ按分比例ト云フコトニ議決ニナッタノデアリマス、其時ノ原案ハ子爵ニ一人割合ガ多クテ男爵ニ割合ガ少ナカッタノデス、其時ノ案ト云フモノハ、ド

ウモ子爵ニ餘ホド特典ヲ餘計與ヘテ、其他ノ者ニハ特典ヲ與ヘスト云フヤウナ法案デアッタ、謂ハユル子爵ニ私シタト云フヤウナ法案デアッタノデ、ソレヲバ色々議論ノ末、子爵ノ議員ハ餘ホド多數ヲ占メテ居ルニ拘ラズ、遂ニ公平ナ所ノ按分比例ト云フコトニナッタ、按分比例ト云フコトハ是ハ何所マデ行ッテモ公平ナ論ニ違ヒナイ、其公平ナコトニ決マッタノデ、所ガ今度此案ニ依ルト矢張り子爵議員ダケヲ割合ヲ多クスル、三十八年ニアレクラキ議論シテ決メタノニ又此度立戻ッテ子爵バカリ多クシナケレバナラスト云フ理由ハ、ドウ云フ譯デアリマセウカ、其理由ヲ伺ヒタイ、是ハ私ノ察スル所、子爵議員ガ多數アル、其中研究會ト云フ子爵議員ノ勢力ノ多イ所カラ、或ハ現内閣ノ成立ニ依ッテ其頼ミヲ受ケラレタト推測セラル、ノデアリマス、「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ併ナガラ其外ニ何カ正シイ理由ガアルナラバ、ドウカ承リタイノデス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今、尾崎男爵カラノ御尋ネデゴザイマスガ、決シテサウ云フ理由デ提出ヲ致シマシタノデゴザイマセデスカラ、其事ダケハ明言イタシテ置キマス、此前ノコトハ何モ申シマスルコトハアリマスマイガ、此前ノ三十八年ノ改正案ハ三十七年ノ選舉ノ通りデ、アノ時分ニ出テ居リマシテ、其時分子爵ニ於テ殊更ニ多クシタト云フコトハ無イノデアリマス、此第一ノ選舉以來、或ハ百分比例ヲ取ッテ見マスレバ、或ル時ニハ多ク或ル時ニハ少ナイト云フコトノ事情ニナッテ居リマシテ、決シテサウ云フ一様ニナッテ居リマセス、ソレダケノコトヲ……

○男爵尾崎三良君 唯今質問イタシマシタガ、御答ノ要領ヲ得マセス、モウ一ツ御答ヲ伺ヒタイノデアリマス、三十八年ノ時ノ改正、原案ハ決シテ子爵議員ノ割合ハ多クナッテ居ラスト云フ説デアリマシタケレドモ、本員等ノ見ル所デハ多クナッテ居ルト云フモノハ、其時ノ案ト云フモノハ、總テノ有爵議員ハ百四十三人、其數ハ現在ノ儘、其時ノ子爵議員ノ員數、男爵議員ノ員數ヲ其儘ニシテ置クト云フ論デアリマス、所ガ目前ニ男爵ト云フモノハ非常ニ殖エテ居ルト云フコトハ分リ切ッテ居ル、シテ見レバ必ズ按分比例ト云フノハ、男爵議員ガ非常ニ割合ガ少ナクナルト云フコトハ分リ切ッテ居ル、ソレヲバ白々シクモサウ云フ趣意デ無イト申サレル、ソレハ殆ド天下ヲ欺クト云フモノデアラウガ、併ナガラ此事ハ強ヒテ申シマセスガ、此度斯ノ如クシ

ナケレバナラス理由ハ何所ニアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今、尾崎男爵ハ其理由ノコトヲ繰返シテ御尋ネニナリマシタガ、理由ハ先キホド總理大臣カラ述ベラレマシタノデ、唯今伊達男爵ニ本員カラ答辯イタシマシタ理由ニ依ッテ明カト思ヒマス、ソレ以上ニ別ニ理由ハゴザイマセス

○伯爵大木遠吉君 本員モ質問ガアリマス、安廣君ノ御答ヲ煩ハサナイ、我輩ハ桂總理大臣ニ御返答ヲ請求スル、今度ノ改正案ニ依リマスルト甚ダ不可思議ナ現象ヲ呈出スル、ト云フモノハ、伯爵ハ當時百一人、之ニ對シテ十七人、子爵ハ三百七十七人ニ對シテ七十人、男爵ハ三百七十八人ニ對シテ六十三人トスル、斯ウ云フコトニナリマスルト、選舉ノ率ガ伯爵ハ五人九分四厘ニ對シテ一人ノ選舉、子爵ハ五人三分八厘ニ對シテ一人、男爵ハ六人ニ對シテ一人選舉スル、斯ノ如ク色々等差ヲ生ズル結果ニナリマスガ、果シテ政府ハ爵ノ階級ニ依ッテ權利ニ輕重ヲ來タシテモ、ソレハ無理ハ無イ、不都合ハ無イ、公平デアルト云フ御了簡デアルカ、ドウデアルカ、其邊ヲ篤ト承リタイ、明確ニ御返答ヲ願ヒマス、伯爵ハ何ガ故ニ五人九分四厘ニ對シテ一人、子爵ハ何ガ故ニ五人三分八厘ニ對シテ一人、何デ之ヲ平均スルコトガ出來ルカ、何ヲ苦ンデ男爵ノ權利ヲ減ラスノデアルカ、明確ニ御返答ヲ願ヒタイ

〔國務大臣侯爵桂太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(侯爵桂太郎君) 大木伯爵ノ唯今ノ御質問ニ御答イタシマス、前キニ申シマシタ如ク伯子ハ現狀ノ儘デ置キ、男爵ハ七人ヲ増ス、是ガ趣意デゴザイマス、外ニ趣意ハ何モゴザイマセス

○男爵伊達宗敦君 私ハ尾崎男爵ニ一應御注意イタシテ置キタイコトガアリマスル、決シテハハ戯レデモ何デモアリマセスガ、能ク滿場諸君モ御聽キ下サレタイ、唯今尾崎男爵ガ政府委員ニ質問ノ言葉ノ中ニ、當貴族院令ノ改正ト云フモノハ研究會ニ頼マレテ政府ガ出シタ如キ御問デアリマシタガ、政府ハ果シテサウデナイト云フ答辯ヲサレタ、本員モ左様ナコトハナイト確ト信ジテ居ル、此滿場ニハ研究會ノ御方ガ澤山御出デニナルノデアリマス、左様ナコトヲ尾崎男爵ガ言ハレルト、注意シテ解釋スレバ研究會諸君ヲ侮辱シタモノデアルト考ヘル、如何デスカ、「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ「實ニ失禮ナ言葉ダト思ヒマス、何レニシテモ不穩當ト云フコトハ免レスト思ヒマス、ドウ

カ尾崎男爵ニ平ニ本員ハ御注意イタシマスル、研究會ニ頼マレ云々ト云フ言葉ハ御取消ヲ願ヒタイ、私ドモハ……私モ男爵デアレケレドモ、此改正案ニ付イテハ男爵ノ利害デアルトカ、伯爵ノ利害デアルトカ云フ考デ、之ヲ見ルノデハアリマセヌ、唯公平ニヤルト云フコトガ目的デアルカラ、何ゾ眼中ニ男爵、子爵、伯爵、サウ云フヤウナ感覺ヲ以テ見ルコトヲ許スベキモノデハナイト思ヒマス、ドウカ尾崎男爵ニハ誠ニ御氣ノ毒デスガ、唯今ノ研究會ニ頼マレ云々ト云フコトヲ御取消アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵尾崎三頁君 拙者ハ唯天下ノ感想ヲ述ベルノデアリマスカラ、天下ノ人ガサウ思ハナケレバソレマデノ話デアリマス、思フ人モアラウト思ヒマス、同感ノ人モアラウト思ヒマス、其所ハ別ニ深ク研究スル必要ハナイト思ヒマスルガ、其研究會カラ頼マレタトカ何トカ云フコトハ語弊ガアツタカ知レマセヌガ、私ハサウ感ズルト云フコトデゴザイマス、私ノ感じハ諸君モ御感じニナルカナラヌカ分リマセヌガ、御感じニナル人モアラウ、御感じニナラス人モアラウ、ソレハ成行キニ任カセルヨリ仕方ナイト感ズルダケノコトデアリマスカラ、決シテ政府ガ一個ノ團體ニ頼マレタ、斯ウ云フコトハ無イデセウ、唯サウ感ズルト云フダケデアリマス、唯今桂總理大臣ヨリ伯爵、子爵ハ現狀ノ儘ニ置イタ、男爵ハ七人増スト云フダケノ趣意ダ、……ソレハ理由デナイ、ソレハ此案ノ現物デアル、此改正スル必要ハドウ云フ理由デアルト云フ大木伯爵ノ御問デアラウト思フ、今ノ御答ハ理由ニハナラナイト思ヒマス、併ナガラ強ヒテ申シマセヌ、詰リ此度ノ原案ハ不當ナ案デアル、現ニ三十八年ニ按分比例デ決メルト云フコトニ決メタモノヲ、今度殊更ニ斯ノ如ク按分不比例ニ決メテ仕舞フト云フコトハ……

○議長(公爵徳川家達君) 尾崎男爵ニ御注意イタシマスガ、尾崎男爵ハ御質問ヲナサルノデアリマスガ、御意見デアレバ委員ニ付託サレマセウカラ、其報告ノアトデ願ヒタク思ヒマス

○男爵尾崎三頁君 宜シウゴザイマス、質問ノ餘波ヲ少シ述ベタノデゴザイマスガ、議長ノ御説ノ通り便宜ノ時……

○議長(公爵徳川家達君) チョット諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、是ハ讀會ノ順序ヲ經ナクテモ宜シカラウト考ヘマスガ、一應此際諸君ノ御意見ヲ伺ッテ置キタク思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 チョット解シ兼ネマシタガ、委員付託ニセズシテ、此所

デ唯今決メヤウト云フ御説デアリマスガ

○議長(公爵徳川家達君) 委員ニ付託スルト云フコトハ讀會ト何等ノ關係モ無イト思ヒマス、議長ノ伺ヒマシタノハ、是ハ建議案ノ如クデス、讀會ノ順序ヲ經ズシテ、タゞ一遍ノ採決デ宜シカラウト思ヒマス

〔賛成「ト呼フ者アリ」〕

○子爵曾我祐準君 本案ハ随分小ムヅカシイ質問モゴザリマシタ、其質問ノ中ニモ……

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ノ先キニ決メタク思ヒマス、讀會ノ順序ヲ經ナクテ宜シカラウト云フコトニ、議長ハ認メテ宜シウゴザイマスガ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、曾我子爵

○子爵曾我祐準君 本案ハ先刻種々ムヅカシイ御質問モ出マシテ、其時分ニ政府委員モマダ十分ニ御答ヲ終ラヌヤウニ見受ケマシタ、又質問サレタ諸君ハ尙ホ委員會ニ於テ説明ヲ請ハル、ヤウナ意味ニ言葉ヲ御止メニナツタ御方モアリマス、デ本案ハ委員付託ニナリマシテ、其委員ハ十五人ニシテ、其選舉ハ議長ニ御任せ申シタイト考ヘマス、加之コレハ今日ノ彙報ヲ見マスト緊急議決ノ請求ガ政府カラ來テ居ルト云フコトデアリマスニ依ッテ、今日ヨリ三日間、即チ十九日中ニ報告セヨト云フ條件ヲ付ケテ委員ニ付託シタイト思ヒマス、御賛成ヲ願ヒマス

○子爵三島彌太郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○平山成信君 曾我子爵ニ賛成デアリマス、本員ハ此前ニ改正案ガ出マシタ時ニモ原案ニ賛成シタモノデアツテ、此選舉ハ決シテ按分比例ヲ用キル必要モ無イ、ソレヲ用キルトキニハ甚ダ不都合ナ結果ヲ生ズル場合ガアルト考ヘマスカラ、速ニ委員ニ付セラレテ審査ノ上、本會ニ於テ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ノ、本案ハ十五名ノ委員ニ付託シ其委員ノ選定ハ議長ニ一任スルト云フ動議、其動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、曾我子爵ニ伺ヒマスガ、報告期限ハ十九日中デアリマスガ

○子爵曾我祐準君 左様デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ期限ヲ付スルト云フコトモ三島子爵ノ御賛成ガアッタト議長ハ考ヘマス、曾我子爵ノ動議ノ通りデ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ其委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

貴族院令中改正案特別委員

公爵二條 基弘君	侯爵德川 頼倫君	伯爵松本 宗隆君
子爵曾我 祐準君	子爵松平 康民君	子爵三島 彌太郎君
子爵牧野 忠篤君	男爵松平 正直君	男爵千家 尊福君
平山 成信君	男爵西五辻 文仲君	男爵紀 俊秀君
富井 政章君	穂積 八束君	桑田 熊藏君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五、砂鑛法案、政府提出、衆議院送付、第六、登録稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長大木伯爵

砂鑛法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十五日

右特別委員長

伯爵 大木 遠吉

貴族院議長公爵德川家達殿

登録稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十五日

右特別委員長

伯爵 大木 遠吉

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○伯爵大木遠吉君 砂鑛法案、竝ニ登録稅法中改正法律案ニ就イテ委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ヲ開クコト約三回、鄭重ニ審査ヲシマシタ結果、此衆議院ノ修正ノ通り異議ナク可決イタシタ譯デアリマス、其大體ノ趣旨ニ付イテ少シ申上ゲタイト思ヒマスルガ、此提出ノ理由ハ、理由書ニモアリマシヤウニ、現行ノ砂鑛採取法ハ餘ホド舊イ以前ノ制度デアリマシテ、時勢ノ變遷、砂鑛業ノ情態ノ變化ト云フコトカラシテ、大分今日ノ實際上、不備缺漏ノ點ガ多クナリマシタニ依ッテ、之ヲ是非改正セニヤナラヌト云フコトガ一番ノ原因デアル、其上ニ又明治三十八年ニ改正ニナリマシタ鑛業法、コレトノ比較權衡上甚ダ懸隔ガアリマシテ、ドウモ今日ノ儘デハ置カレナイト云フコトガ大體ノ骨子デアリマス、ソレニ又、此案ノ全部ヲ通ジマシテ、最も必要ナル點ガ三ツアリマスガ、其一ハ「金鑛ノ廢鑛又ハ鑛滓ニシテ主務大臣ニ於テ其ノ存在狀態砂金ト類似スト認メタルモノハ之ヲ砂金ト看做ス」ト云フ箇條ガゴザイマスガ、是ガ最も必要ナル眼目デアルサウデアリマシテ、ナゼソレガ必要デアルカト云フト、元來今マデハ廢鑛、鑛滓ハ國ノ所有、斯ウ云フコトニ決マッテアッタサウデス、然ルニ此廢鑛ト鑛滓トノ狀態ガ、殆ド砂金ノ狀態ト同一デアル場合ガ多クアリマストキニハ、ドウモコノ鑛業法……廢鑛、鑛滓ハ鑛業法ノ規定ノ中ニ籠ッテアルサウデアリマスガ、ソレデアリマス、同一ノ場所ニ廢鑛、鑛滓ト天然ノ砂金ト兩方ヲ有ッタ場合ニ之ヲ採取スルニ付イテ出願スルモノハ、鑛業法ニ據ルノデアルカ、抑、又現行ノ砂鑛採取法ニ據ルノデアルヤラ、其邊ガ明瞭デナイ、甚ダ煩雜デアル、ソレニ付イテ餘ホド困ルコトガアル、天然ノ砂金ガ廢鑛、鑛滓ニ混在シタ場合ニハ如何ナル手續ニ依ッテ採取ヲ願出デルヤト云フコトガ分ラヌノデ、甚ダ其適從スル所ヲ知ラヌト云フ困難ガアル、又是ガ果シテ廢鑛デアルカ、是ガ鑛滓デアルカ、是ガ砂金デアルカト云フコトハ、其實際ヲ解決スル技術ノ上ニ多大ナル困難ガアリ、詰リ要領ヲ得ヌト云フ結果ニナルノガ是ガ甚ダ困難ノ第一デアルニ依ッテ、今回此改正案ニ依リマシテハ廢鑛、鑛滓ト雖モ、其主管ノ大臣ガ認メテ、砂金ト類似シテ居ル場合ニハ之ヲ砂鑛ト見テ砂鑛法案ニ依ッテ之ヲ許可スルト云フ便法ヲ與フルノガ最も重キ骨子デアルサウデアリマス、ソレカラ第二ニハ外國人ガ砂鑛採取ヲシタイト云フ場合ニ、鑛業法ノ規定ニ依リマシテハ、外國人ハ何等ノ形式ニ依ッテモ鑛業ハ固ヨリ砂鑛權

モ得ルコトガ出來ナイト云フ差支ガアル、即チ砂鑛採取ニ付イテハ外國人ハ何等ノ形式ニ依ッテモ其權利ヲ得ルコトガ出來ナイト云フノハ、是ハ隨分困ッタコトデアル、且又此砂鑛業ノ發展上ニ付イテモ甚ダソレガ障礙トナル點ガアリマスルカラ、是ハ矢張り外國人ト雖モ日本ノ法律ニ據ッテ法人トナッタ場合ニハ砂鑛採取ヲ許シテ然ルベシト云フノガ第二ノ要點、ソレカラ第三ニハ、砂鑛權ニハ抵當權ノ設定ヲ認メテナイニ依ッテ資金融通ニ甚シキ困難ヲ來タス、ソレ等ノ爲ニ砂鑛業ノ發展上ニモ差支ノアル場合ガ多イト云フコトデアリマス、故ニ鑛業權ト同様ニ砂鑛權ニ付イテモ矢張り抵當權ヲ設定スルコトニシテ、資金融通ノ途ヲ啓クガ必要デアルト云フ、此三ツノ要點デアリマス、此三ツノ要點ガ抑、此案ヲ一貫シタ所ノ最モノ主眼デアルサウデアリマス、ソコデ委員會デハ鄭重ニ此案ニ就イテ政府委員ニモ質問ヲ致シマシタシ、又丁寧ニ審議ノ結果、矢張り是ハ衆議院ノ修正案ノ通り通過スベキモノデアルト云フコトニ決定イタシタ次第デアリマス、ソレカラ此登録税法中改正法律案ハ、是ハドウモ別ニ喋々ヲ要シマセデアリマシテ、登録税ニ於ケル……砂鑛權ノ登録税ニ於ケル規定ヲ決メタ譯デアリマスルカラ、是亦原案ノ通りニ可決確定イタシマシタ次第デアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ此案ハ甚ダ簡單且ツ明瞭ナル……兩案共ニ簡單明白ナルモノデアリマスカラ、何卒此際讀會ヲ省略シテ直チニ可決確定アラムコトヲ希望イタシマス

○子爵板倉勝達君 讀會省略ニ賛成

○子爵大原重朝君 賛成

○子爵本莊壽巨君 讀會省略ニ賛成

○伯爵德川達孝君 賛成

○伯爵松平賴壽君 賛成

○伊澤修二君 讀會省略ニ賛成

○秋月新太郎君 賛成

○奥山政敬君 讀會省略ニ賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 大木伯爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアッタト認メマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案トモ特別委員長ノ報告通りデ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、明治四十一年法律第九號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長辻男爵

明治四十一年法律第九號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十五日

右特別委員長

男爵 辻 新次

貴族院議長公爵德川家達殿

〔男爵辻新次君演壇ニ登ル〕

○男爵辻新次君 明治四十一年法律第九號中改正法律案委員會ノ經過ヲ報告イタシマス、此委員會ハ一昨十五日ニ開キマシテ議決イタシマシタ、此法律ハ御承知ノ通り昨年東京高等師範學校及東京盲啞學校ノ資金ニ屬シテ居マス所ノ不用ノ土地ヲ賣リマシテ、其金額ヲ以テ東京高等師範學校ノ或ル校舍ト東京盲啞學校ヲ新營イタシマスルト云フコトデゴザイマシタノデアリマス、所ガ其通り參リ運ビマセヌノデアリマシタカラ、更ニ改正ヲ加ヘテ其豫定ノ通り賣レマセヌ所ノ地所ヲ他ノ學校ノ資金ヲ以テ買入レマシテ、サウシテ最初ノ目的ヲ達シマセウト、斯ウ云フコトデアリマス、ソレデ政府委員ニモ質問ヲ致シマスシ、應答ノ末、可決ト云フコトニ……已ムヲ得ナイコトデアアルカラシテ可決ト云フコトニナリマシタガ、之ヲ極ク實際ニ當ッテ一言申上ゲテ置キマスレバ、或ル部分ハ豫定ノ通り賣レマシタサウデアリマスケレドモ、高等師範學校ノ有ッテ居ル所ノ地面ノ或ル部分ガ賣レマセヌカラシテ、ソレデ東京高等商業學校ガソレヲ買入レマスト云フコトデ、ソレハ東京高等商業學校ニ於キマシテハ鄰地デアッテ誠ニ必要ナ地面デアアルサウデアリマス、ソ

レデ東京高等商業學校ノ資金ノ中カラシテ其金ヲ出シマシテ、サウシテ新營費ニ充テルト云フコトデゴザイマスノデス、是ハ已ムヲ得ナイコトデアラウト、斯ウ云フコトデ委員會ハ認メマシタノデゴザイマスルガ、茲ニ於テ一言申上ゲテ置キタイコトハ、一體學校圖書館ノ資金ハソレヲ使用セナイ、使ッテ仕舞ヒマセスト云フノガ元來ノ精神デアリマスノデス、ソレデ此コトハ已ムヲ得ヌガ、將來ニ於テ學校圖書館ノ資金ヲ支消スルト云フコトハ是ハ必ズサウ云フコトノ無イヤウニナラスケレバナラスト云フ論ガゴザイマシテ、政府委員ハ之ニ答ヘマスルノニ、將來ニ於テハサウ云フ資金ヲ使フト云フヤウナコトハ致シマセスト、斯ウ云フ答ヘヲ得マシタノデゴザイマス、昨年モ此議場ニ出マシタ時ニ、矢張り丁度其論ガ出マシテ、學校圖書館ノ資金ト云フモノハ、學校經濟ニ於テ最モ大切ナモノデアルカラ、是ハ此事ダケハ已ムヲ得ヌガ、將來ハ其資金ヲ使フトコトノ無イヤウニセスケレバナラスト云フコトノ論ガ出マシテ、前ノ文部大臣ハ矢張りソレニ對シテ容易ニ使ハナイ、斯ウ云フ返答ガアリマシタ次第デゴザイマス、丁度此一昨日ノ委員會ニ於キマシテモ、其問答ガ出マシテ、此資金ト云フモノハ將來ニ於テハ斯ノ如キモノニ支消ハシナイト云フ、斯ウ云フ譯デ、終ニ全會一致デ此案ハ可決ニナリマシタ次第デアリマス、之ヲ御報告ヲ申上ゲマス、付キマシテハ此案ハ誠ニ私ドモノ考デハ明瞭ノ案ト考ヘマスカラシテ、ドウゾ讀會省略ヲシテ直チニ可決アラムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○田中芳男君 讀會省略賛成

○伊澤修二君 讀會省略賛成

○男爵金子有卿君 讀會省略賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵野宮定穀君 賛成

○西村亮吉君 賛成

○子爵鍋島直彬君 賛成

○石井省一郎君 賛成

○男爵周布公平君 賛成

○男爵眞田幸世君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 辻男爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアッ

タト認メマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案御異存アリマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八、北海道拓殖銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長柳原伯爵

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十六日

右特別委員長

伯爵 柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 唯今議題ニナッテ居リマス北海道拓殖銀行法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道申上ゲマス、此委員會ハ昨十六日ニ開キマシテ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、續イテ會議ヲ開キマシテ全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマス、此案ノ内容ハ極メテ簡單ナモノデゴザイマシテ、要スルニ二ツノ點ニ過ギヌノデアリマシテ、其一ハ公共團體ノ事業ガ段々發達スルニ伴ヒマシテ銀行ニ於テ債券發行ノ基礎ヲ更ニ擴張イタシタイト云フノガ一ノ要旨デゴザイマシテ、ソレカラモウ一ノ要點ハ現ニ政府ガ有ッテ居リマス所ノ持株ノ株券、之ヲ金高ニ積リマスト百万圓ダサウデゴザイマス、是ハ十年間無配當ノ條件デ現行法ハ規定シテアリマスガ、其十年ノ期限ガ殆ド滿了ニ近イノデアリマスカラ更ニ五年延長ヲシテ、サウシテ矢張り無配當ノ儘ニシテ置キマシテ、此銀行ノ基礎ヲ益々鞏固ニ致シタイト云フ、此二ツノ改正ノ要點ニ過ギナイノデゴザイマス、極メテ是ハ今申上ゲマシタ如ク簡單明瞭ナル案デゴザイマスカラ、是ダケヲ御報道申上ゲテ置キマス、尙ホ右申シマシタヤウナ次第デアリマスカラ、願ハクハ讀會省略ヲ以チマシ

テ直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○子爵板倉勝達君 讀會省略賛成

○伯爵寺島誠一郎君 讀會省略賛成

○伯爵大原重朝君 讀會省略賛成

○子爵稻垣太祥君 讀會省略賛成

○男爵周布公平君 讀會省略賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○中島永元君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○秋月新太郎君 賛成

○石井省一郎君 賛成

○平山成信君 賛成

○西村亮吉君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 柳原伯爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガ
アッタト認メマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案、特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、裁判所臺灣總督府法院統監府法務
院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會
裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律
案

右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

第一條 裁判所ノ言渡シタル民事ノ判決ハ其ノ執行力アル正本ニ基キ臺灣
及韓國ニ於テ、臺灣總督府法院、統監府法務院及理事廳ノ言渡シタル民
事ノ判決ハ其ノ執行力アル正本ニ基キ内地ニ於テ各其ノ強制執行ヲ爲ス
コトヲ得但シ執行地ノ法令ニ依リ許スヘカラサル請求ニ付テノ強制執行
ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 裁判所ノ言渡シタル刑事ノ判決ハ臺灣總督府地方法院檢察官又ハ
理事廳理事官ニ、臺灣總督府法院、統監府法務院及理事廳ノ言渡シタル
刑事ノ判決ハ地方裁判所又ハ區裁判所ノ檢察官ニ各其ノ執行ヲ囑託スルコ
トヲ得但シ死刑又ハ答刑ヲ言渡シタル判決ハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ囑託ヲ爲スニハ判決謄本ヲ送付スヘシ

第三條 裁判所及臺灣總督府法院ノ言渡シタル刑ニシテ刑名同シキモノハ
其ノ執行ニ關シテハ同一ノ刑ト看做ス

第四條 臺灣總督府法院ノ言渡シタル判決ヲ韓國ニ於テ、統監府法務院及
理事廳ノ言渡シタル判決ヲ臺灣ニ於テ執行スルコトニ關シテハ前三條ノ
例ニ依ル

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十、辯護士ノ職務並判官評定官檢察官
及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會
辯護士ノ職務並判官評定官檢察官及辯護士ノ在職年限ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

第一條 裁判所所屬辯護士ハ臺灣總督府法院ニ於テ、臺灣總督府法院所屬
辯護士ハ裁判所ニ於テ各其ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二條 臺灣總督府法院所屬辯護士ニシテ辯護士法ニ依リ辯護士タル資格
ヲ有スルモノノ在職年限ハ裁判所構成法第六十五條、第六十九條及第七

十條ニ掲クル年限ニ之ヲ通算ス

第三條 臺灣總督府法院判官、臺灣總督府法院檢察官、統監府法務院評定官及統監府法務院檢察官ニシテ裁判所構成法ニ依リ判事檢察タル資格ヲ有スルモノノ在職年限ハ裁判所構成法第六十九條及第七十條ニ掲クル年限ニ之ヲ通算ス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、議事日程ノ第九竝ニ第十ノ法律案ハ同一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔太田書記官長朗讀〕

裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案外一件特別委員

子爵大田原一 清君 子爵本莊 壽 巨君 子爵入江 爲守君
男爵北 島 治房君 男爵關 義 臣君 奥山 政敬君
馬屋原 二郎君 兒玉 淳一郎君 岩村 兼善君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一、狩獵法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長川村伯爵
狩獵法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十五日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長
伯爵 川村 鐵太郎

狩獵法中改正法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見
右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治四十二年三月十五日

伯爵 川村 鐵太郎
子爵 伊集院 兼知

貴族院議長侯爵德川家達殿

田中 芳男
男爵 伊達 宗敦

狩獵法中改正法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

本案ハ否決スヘキモノナリト認ム

〔伯爵川村鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵川村鐵太郎君 狩獵法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此法案ハ去ル十一月九名ノ委員ニ付託ニナリマシタ、十五日ニ正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ、直チニ會議ニ掛ッタノデアリマス、種々政府委員ニ質問ヲシテ討議ニ移リマシタ、所ガナカク議論ガ多ウゴザイマシテ、採決ノ結果、四ト三ノ割合デ此案ハ可決サレマシタノデゴザイマス、各委員ノ意見ヲ一應申述ベテ置キマセウト思ヒマス、本案ノ沿革ニ付キマシテ一言申述ベタ方ガ能ク御參考ニナルガラウト思ヒマス、此狩獵法ハ明治六年以後種々改正ガアリマシテ、二十八年マデニ色々ノ改正ガアリマシタガ、イツモ十月ノ十五日ニ獵期ガ始ッテ四月ノ十五日ニ終ッタノデアリマシテ、二十八年ニ至リマシテ法律第二十號ニ依リマシテ甲種免狀有效期限ヲ一箇年トシ、乙種免狀ノ有效期限ハ十月ノ十五日カラ翌年ノ四月十五日マデトシタノデアリマス、外ニ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ前項ノ規定ヲ三十日以内ノ伸縮ヲスルコトガ出来タノデアリマス、三十四年ニ至リマシテ其弊害ヲ認メテ、政府ハ鳥類蕃殖ノ上カラ農業ノ政策上ニ及ボス點ヲ篤ト調査シテ、議院ノ協賛ヲ經テ、斷然法律ノ改正ヲ行ッテ今日ノ現行法ニナッタノデアリマス、今回衆議院カラ提出サレマシタ改正案ト云フモノハ、即チ三十四年ニ確定シタ狩獵期限ヲ變更シテ、或ル程度ノ下ニ於テ元ノ法律ト同様ノコトヲ繰返スノデアリマス、反對ノ理由ハ三十四年ノ議會ニ於テ從來ノ狩獵法ノ不備ナル點ヲ改正シマシタガ、續々起ッテ來マス所ノ虫害ヲ除キマスニハ、丁度鳥類ノ孵卵期、即チ蕃殖時期ガ此蟲ノ蕃殖時期ト同一デアル、是非トモハ鳥ニ蟲ヲ取ラセル方ガ天然ノ蟲ノ驅除法デアルト云フ點カラ、此野禽ノ保護ヲ或ル程度ニ於テスルト云フ精神カラ、三十四年ノ議會ニ法律ノ改正ヲシテ狩獵期限ヲ伸縮シナイヤウニナッタノデアリマス、ソレデ甲種乙種共ニ斷然十月十五日カラ四月十五日マデト期限ヲ定メラレタノデアリマス、然ルニ今度狩

獵期限ノ前後ニ於テ各、十五日間ノ期限ノ伸長ヲ爲スト云フト、三十四年ノ狩獵法ヲ改正シマシタ趣意ノ根本ヲ沒却スルバカリデナク、政府委員ニ於テ段々質問ノ際ニ密獵ノ多イト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマスガ、此上ニ此期限ヲ延長シマスルトキハ、益、六箇月ノ期限ニ對シテ一箇月ハ隨分長イ延長デアリマスガ、日本ノ如キ外國ニ比シテ野禽ノ少ナイ土地ハ、益、此野禽ノ減少ヲ來タス傾キガアルト云フノデ、策ノ得タモノデナイト云フ點デアリマス、ソレカラモウ一ツ反對ノ理由ハ期限ヲ十月一日ニ延長サレタ場合ニハ狩獵家ノ立チ場カラ、現行法ノ十月十五日デサヘモ獲物ハ大分腐敗スル傾キガアツテ、種々防腐スル方法モ講ゼラレルケレドモ、マダ十分ノ效果ガ無い、途中ニ其獲物ヲ捨テタト云フコトモ聞イテ居ル、果シテ然ラバ期限ノ延長ハ何デアルカ、實ニ何モナラスト云フ點デアリマス、第三ノ反對ノ要點ハ十月一日カラ四月三十日ニ延長スル元トノ起リト云フモノハ、元ト北陸地方ニ於テ一部ノ士族ガ鶴ト申ス鳥ヲ甲種ノ免狀ニ依ッテ網デ獲ルノヲ營業トシテ居ルノガアルサウデアリマス、ソレガ十月十五日ヨリ一日ノ方ガ鶴ノ價格ガ宜シイト申スヤウナ所カラ、期限ノ延長ヲ請願シテ出タモノガアル、是ガ種々交渉ノ結果、甲乙種共ニ延長スルト云フコトデ折合ガ付イタトヤラニ聞イテ居リマス、果シテ然ラバ謂ハユル小刀細工デ現行ノ狩獵法ヲ改正スル要點ニハナツテ居ラス、他ニモウ一人ノ委員カラハ一地方ノ利害ノ爲ニ全般ノ改正ヲスルト云フコトハ不同意デアルト云フ點デアリマス、最後ニ十月一日ハ早稲ノ刈取り前デアルカラ地方ニ依ッテハ農民ガ田野ニ於テ銃獵ノ危險ニ暴露サレルノガ、十五日ナラバ割合ニ其危險ガ少ナイト云フ點デ、原案ニ反對サレタノデアリマス、凡ソ反對ノ大要ハソレダケデアリマシタガ、賛成ノ意見ニ付キマシテ一言申述ベテ置キタイト思ヒマス、賛成ノ御意見ハ、密獵ノ取締ガ未ダ十分ニ行届カメ今日、昨年ノ如キハ市内ニ於テ獵期以外ニ獵鳥ノ販賣ヲシタ形跡ガアツタ、政府委員ニ於テモ此取締ノ十分ニ行届カスト云フコトハ認メテ居ラレル今日、十五日グラキ……獵期ノ前後ニ三十日ヲ延期スル位ノコトハ、相當ナ納税ヲ負擔スル狩獵家ニ、此期間ニ狩獵ヲセシムルト云フコトハ、當然ノコトデアアル、公平ノコトデアアル、密獵バカリニ此期間ニ狩獵セシムルト云フコトガ出來テ、納税ヲ負擔スル本當ノ狩獵家ハ此期間ニ狩獵ノ出來ナイト云フコトハ、大ニ不公平デアアル、ノミナラズ野禽ノ蕃殖ノ上カラ見マシテ、決シテ減少スルヤウナ憂ハナイ、十月ノ一日ニ延長シタトキ

ニハ、比較的野外ニ勞働スル農民ニ及ボス危害ガ少ナイ、賛成ノ方ニモ反對ノ方ニモ同ジヤウナ……賛成ノ方ハ十月一日ノ方ガ危險ガ少ナイ、反對スル方ハ十月ノ十五日ノ方ガ比較的少ナイト云フ點デ、委員ノ見ル所ガ違ッタノデ、採決ノ結果、四ト三ノ割合ニ依ッテコレガ可決サレタノデアリマスル、委員ノ中カラモ少數者意見トシテ議長マデ提出シテアリマスルカラ、大體賛成ノ意見ノ大要ヲ申上ゲテ、委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス

〔男爵伊達宗敦君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 伊達男爵ハ御質問デスカ

○男爵伊達宗敦君 サウデス、委員長ニ質問……デヤナイ、此際私ハ政府即チ農商務……大臣ハ少シ御迷惑カ知レマセスカラ、次官ニ向ッテ質問シタイト思フ、ソレハ他デアリマセスガ、唯今委員長カラモ御述ベニナッタヤウニ、此度ノ狩獵法ノ改正法案ト云フモノハ單ニ始メニ於テ十五日、終リニ於テ十五日、前後合セテ二十日ヲ延バスト云フ、誠ニ簡單ノ案ノヤウニ見エル、併ナガラ是ハ鳥獸ノ蕃殖ト云フ方ニ付イテモ非常ナ妨ゲニナリマス、又一方カラ見ルト農家ト云フモノガ爲ニ非常ナ迷惑ヲ來タス、斯ウ云フヤウナ考ヲ本員ハ懷イテ居マスガ、無論政府ハ此案ニ付イテ絶對的御反對ト云フコトハ、委員會ニ於テ御述ベニナツテ能ク存ジテ居リマスガ、願ハクハ此議場ニ於テ右申シタ所ノ要點ヲ委シク御述ベニナルコトヲ希望シマス、本員モ少數意見ヲ出シテ居ル一人デアリマスカラ、無論意見ヲ述ベマスガ、其前ニドウカ満場諸君ニ御分リニナルヤウニ政府委員カラ御辯明ヲ願ヒタイ

〔政府委員押川則吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(押川則吉君) 唯今、伊達男爵ヨリ御質問デゴザイマシタ、其答辯旁、政府ノ所見ヲ申述ベタイト思ヒマス、少數意見ガ御提出ニナツテ居リマスカラ、少數意見ノ御陳述ノ後ニ申述ベヤウト思ッテ居リマシタノデゴザイマスケレドモ、此際申述ベタイト思ヒマス、此狩獵法ノ改正案ハ、原案ハ甲乙兩種ノ免狀ノ期限ヲ前後十五日間ヅ、延バスト云フ案デハナカッタノデゴザイマス、初メハ甲種免狀、乙種免狀トゴザイマス、其甲種免狀ノ網、鶴ヲ以テ鳥ヲ捕ヘルト云フノニ向ッテ、前ニ十五日間、後ノ方ニ十五日間延バスト云フノデアッタガ、衆議院ノ委員會ニ於テ斯ノ如ク修正ニナリマシテ、網デ捕ル甲種免狀モ、鐵砲デ捕リマス乙種ノ方モ同ジク前後十五日間ヅ、延バス、斯ウ云フコトニ修正ニナツテ、ソレガ貴族院ニ送付ニナツテ居ルノデゴ

ザイマス、元來今日ノ狩獵免狀ノ期間ト申シマスモノハ、ドウ云フ理由ニ依ッテ是ガ定メテアルカト申シマス、主トシテ鳥類ノ保護蕃殖ト云フコトノ爲ニ決メテアルノデゴザイマス、何故ニ鳥類ノ保護蕃殖ト云フコトヲ努メル必要ガアルカト申シマス、是ハ唯、狩獵家ノ娛樂ノ都合上ノ必要カラ決メテアルノミデハナイノデ、農業、林業、是等ノ保護ノ爲ニ此期限ガ必要デアルノデゴザイマス、即チ御承知ノ通り、鳥類ニ於テハ有益鳥類ト稱スルノガゴザイマシテ、是等ハ多ク農業林業ニ有害ナル所ノ蟲類ヲ食料ニ致シテ居ルノデ、此有益鳥類ノ保護ト云フモノハ、當ニ日本ノミナラズ各國ニ於テ極メテ重要ナル仕事トシテ、今日ハ現ニ歐羅巴ノ佛蘭西其他ノ各國ニ於テハ、有益鳥類ノ保護協約ト云フモノモ出來テ居ルノデゴザイマス、斯ノ如キ次第デアッテ、此問題ハ頗ル重大ナノデゴザイマスカラ、政府ニ於キマシテハ先般、捕獲禁止ノ鳥類モ増加イタシタ次第デゴザイマス、唯今此狩獵期間ヲ前後十五日ヅ、即チ合セテ三十日間延長スルト云フコトハ、是ハドウシテモ此鳥類ノ研究上カラシテ、斯ノ如ク致シテモ差支ナイト云フ十分ナル根據ガナクテハ、此改正ハ出來ナイト思フノデアリマス、然ルニ其點ニ於テハ實ハ餘リニ明カデナイノデアリマス、今日ノ期限ト云フモノハ、既ニ長イ間行ハレテ居ルノデアリマス、之ヲ一朝ニシテ改メルト云フコトニ付イテハ、ドウシテモ十分ノ根據ガナクテハイケナイト思ヒマス、現ニ此上海ニ行ハレテ居リマス所ノ鳥類ノ保護協會ト云フヤウナ所デハ、獵期ヲ十一月一日ヨリ二月末日マデト云フコトニ決メテ居ル位ノコトデゴザイマシテ、此期限ヲ早クスルト云フコトニナリマス、若イ鳥ヲ捕ルト云フコトニナラウト思ヒマス、ソレカラ遅クスルト云フコトニナリマス、既ニ四月ノ始メ頃カラハソレノ蕃殖ノ時期ニナリマス、其蕃殖ヲ妨ゲルト云フコトハ著シイト考ヘルノデアリマス、農業家、林業家ナドモ害蟲ノ驅除豫防ノ必要上カラ致シマシテ、有益ノ鳥類保護ト云フコトニ付イテハ、隨分今日マデニ政府ニ種々ノ意見ヲ陳情シテ居ルコトモゴザイマシ、ドウシテモ此有益鳥類ノ保護蕃殖ト云フコトニ付イテハ一層ノ注意ヲ拂フベキ問題デアラウト思ヒマス、此期間ノ改正ト云フコトニ付キマシテハ、同意スルコトハ出來ヌノデゴザイマス、且ツ此狩獵法ノ改正ノ事ニ付キマシテハ、獵區ノ設定、或ハ其他尙ホ考慮ヲ要スル點ガ多イノデゴザイマシテ、此際斯ノ如キ餘リ確實ナル根據ノ無い點ニ依ッテ、期限ヲ改正スルト云フヤウナ案ヲ出シテ茲ニ改正ヲ行フト云フコトハ如何デアラウカト存ズルノデアリマス、伊達男爵ニ對シテ御答旁、政府ノ所見ヲ申述べテ置キマス

フコトハ如何デアラウカト存ズルノデアリマス、伊達男爵ニ對シテ御答旁、政府ノ所見ヲ申述べテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 伊集院子爵

〔子爵伊集院兼知君演壇ニ登ル〕

○子爵伊集院兼知君 諸君、私ハ此狩獵法中改正法律案ニ付イテ少數意見ノ趣意ヲ述ベマシテ諸君ノ御清聴ヲ煩ハス次第デアリマス、即チ唯今ノ所デハ此案ヲ否決シマシテ現行法ヲ其儘ニ致シテ置キタイト云フコトナンデアリマス、理由ハ此改正案ハ、狩獵者ノ趣味及利益カラ見マシテ何ンモナラナイト云フコトニナルノデアリマス、即チ十月一日ニ獵ヲ開始イタシマス、或ル場合ニ於テハ無益ノ殺生ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、又狩獵期ノ終リ即チ四月十五日マデアルノヲ、此案ノ如ク三十日マデ延長イタスト、此期間ハ丁度鳥獸ノ生殖、又ハ蕃殖期ニ當ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ大ニ其蕃殖ヲ妨ゲマス結果、鳥獸ノ減少スルト云フコトニナルノデアリマス、第二ニ農業ニ害ヲ與フル虞ガアル、唯今政府委員カラ委シク御述べニナリマシタ通り、保護鳥ニ付イテ、……其外ニ此秋ノ期間ノ延長ハ、狩獵者ガ田畑ニ入り込ンデ多ク獵ヲ致シマスカラ、自然成熟期ノ作物ヲ荒スト云フ弊害ガ多クナルノデアリマス、又春ノ延長ハ農夫ガ耕作シテ居ル間ニ危險ノ慮ヲ懷カシムルコトガ多クナリハシナイカト恐レルノデアリマス、第三、此改正案ハ不必要ナモノデアルト云フコトデアリマス、何トナレバ現在ノ狩獵法ハ今、政府委員カラ申サレタ如ク、不備ガソレノアルト云フノデアリマス、政府デモ又民間、殊ニ狩獵者一般ガ改正ヲ望ンデ居ル際デアリマシテ遠カラズ改正サル、デアラウト思ヒマス、故ニ原案ノ如ク唯僅カナル點ノ改正ハ徒勞ニ屬スルノミナラズ、更ニ益ガ無いコトデアリマスカラ、此度ノ改正ハ全く不必要デアルノデアリマス、故ニ我々以上ノ三點、即チ狩獵者ニ益ノ無いコト、農業者ニ害ヲ與フル虞アルコト、此改正ハ不必要ナルコト、此三點ヲ以テマシテ原案ニ反對シタノデアリマス、不幸ニシテ少數デ成立チマセナカッタ、終リニ臨ミマシテ、此案ニハ御賛成ノ方ガアリマス、現在成立シテ居リマスノデゴザイマス、之ニ御熱心ニ御賛成ハ毛利男爵ト德川男爵トデゴザイマシタ、唯今委員長ノ御報告ノ中ニ、ドウモ賛成論者ノ趣意ガ明カデナイヤウニ、私ハ聴取リマシタカラ、此際是非、賛成論者カラ十分ニ御意思

ヲ御述べニナラムコトヲ希望イタシマス

〔「不必要」ト呼フ者アリ〕

○男爵徳川厚君 私ハ原案ニ付イテ賛成ノ者デアリマス、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 御登壇ヲ請ヒマス

〔男爵徳川厚君演壇ニ登ル〕

○男爵徳川厚君 諸君、私ハ此特別委員ノ一人デアリマシテ、此案ニハ賛成ヲ致シマシタモノデアリマス、詰リ此案ハ前後十五日ヅ、即チ三十日間此狩獵期ヲ延長スルト云フ案ニ外ナラスノデアリマス、此案ニ付イテハ委員會ノ決議通り、實ハ可決通り御異議ハ餘リ無キコト、思ッテ居リマシタガ、唯今伊集院子爵カラシテ、少數意見ヲ出サレマシタニ付イテ、私ハ實ハ此所ニ登ッテ所見ヲ述ベル考デハ無カッタノデアリマスルガ、聊カ御參考ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、デ委員會ニ於キマシテ、政府委員ノ所見ヲ聽イテ見マシタルトコロ、延期スレバ農業或ハ水産業等ニ被害ガアルカラ、是ハ不同意デアルト云フ點ガ重モデアアルノデアリマス、併ナガラ尙ホ糺シマスルノニ、其三十日間……前後十五日間ヅ、即チ三十日間延長イタシマスレバ、直接ニドウ云フ點ニ害ヲ被ムルカト云フコトヲ糺シマシタ、然ルニ其答ニ於テハ殆ド餘リ意味ハ無ク、丁度幅サニ於テハ明言スルコトハ出来ナイガ、長サニ於テ幾ラ被害ガアルモノデアルカラ、先ヅ延バサスガ宜カラウ、即チ不同意ト云フニ外ナラスノデ、餘リ強イ御議論ハ無カッタノデアリマス、ソレカラ委員會ニ於キマシテモ、延長スルト云フコトハ反對論者カラノ御説ニハ、獵期ヲ延長スルト危險モ多シ、又農作或ハ鳥ノ保護ナドニ付イテ不可能デアルト云フ御議論ガ一番主張サレタ點デアリマスルガ、此危險ト云フコトハ、實ハ成ルホド銃器ヲ持ッテ獵ヲスルノデアリマスカラ、決シテ危險ガ伴ハナイト云フコトハ、斷ジテ申スコトハ出来ヌノデアリマスガ、此十五日間延バシマシテ……延バセバ尙ホ危險ガ餘計ニ伴フ、餘計殖エルカト云フコトニ付イテハ、私ハ却ッテ此前即チ十月一日ニ早メタ方ガ十月十五日ヨリモ或ル點ニ於テ危險ハ少ナイト云フコトヲ考ヘテ居ル、此理由ハ丁度十月十五日ハ狩獵家ニハ初日デ、皆一年ノ間、待チニ待ッテ殆ド前夜カラ皆飛出シテ行クノデ、一番危險ハ何ガ多イカト云フト、其初獵ノ日、二日目、三日目ハ殆ド戰爭ノヤウナ有様デアアル、委員會ニ於テモ伊達男爵ノ如キハ殆ド戰爭ノヤウナ有様デ、實

ハ危險デアルケレドモ、是ガ初日デアレバ……ト云フ御話デアリマシタガ、初日デアレバ十五日ニシテモ一日ニシテモ、若シ危險デアラバ同ジ事デアアル、ソコデ一日ノ方ガ稻ヲ刈ル人モ此早稻ナドニ於キマシテハ、早稻ハ殆ド僅カシカ刈レテ居ラナイ位デアリマス、十五日ノ方デアリマス、殆ド六分以上モ刈レテ居リマシテ人ガ澤山出テ居ル、デ一日ノ方ガ却ッテ危險ハ少ナクシテ、十五日ノ方ガ却ッテ田ニモ人ガ出テ居ッテ危險デアアル、ソレカラ又實ハ此危險デアアルカラトカ、鳥ノ保護ト云フコトニ重キヲ置クナラバ、絶對的ニ獵ヲ止メテ、サウシテ鳥ヲ殖ヤサセル、サウスルト害鳥モ殖エルカラ、政府デ鳥ノ保護ヲヤッテ、害鳥ヲ殺スト云フコトニナッタラ、絶對的ニ獵ヲ止メテ仕舞フガ宜カラウト思フケレドモ、寧ロ此狩獵ト云フ性質ハ單ニ營業バカリデナク又娛樂バカリデナク、互ニ相埃ッテ行クヤウニシテ、尙ホ其上ニ作物トカ或ハ農業トカニ於テモ、害ナク寧ロ又有益ナル方法ヲ取ッテ行クト云フコトガ即チ此獵ノ本旨デアラウト思ヒマス、隨分委員會ニ於テモ、今此法案ハモウ時勢後レデアッテ或ハ獵區ヲ置カネバナラストカ、ソレ故モット全體ニ大キク之ヲスッカリ改正シナケレバナライ、今此所デ姑息ナコトヲスル必要ハ無イト斯ウ云フ話ガアッタノデアリマスルガ、併シ此案ハモト衆議院ニ於キマシテ初マリハ先刻政府委員ノ申サレタ如ク甲種即チ銃器ヲ用キザル網デアルトカ、罾、藪等ヲ以テ鳥ヲ捕ルト云フモノガ期間ヲ延バシタイ、併ナガラサウスルト同ジ獵デアッテ銃器ヲ用ウル方ト權衡ガ伴ハナイカラシテ、兩方ヲ延バスト云フ、然ラバモト何ガ故ニ延バスト云フコトデアッタカト申スト、或ル地方アタリニ於テハ特種ナ或ハ鶴ト云フ鳥、或ハ其他ノ鳥ヲ澤山捕ッテ罐詰ナドニシテ隨分營業ニシテ大分廣ク賣出スト云フ所モアルト云フ話デアアル、是等ノ營業ニ於キマシテモ僅カ十五日ノ違ヒデアッテモ、モウ渡リ鳥ナドハ僅カノ違ヒデ捕レナクナッテ仕舞フト云フノデ延バス積リデアルト云フ、斯ウ云フノガ本旨デアルト云フコトヲ聞キマシタ、ソレカラ今モ政府委員カラ〔「簡單ニ要點ヲ願ヒマス」ト呼フ者アリ、ヒヤ／＼ト呼フ者アリ〕是カラ少シ獵ニ付イテノ事實ヲ御話シタ方ガ御分リ宜イカト思ヒマス、デ今モ政府委員カラシテ期限ヲ長クスルト始メハ若イ鳥ヲ捕リ、終ヒニ蕃殖ノ時期ヲ妨グル、併ナガラ雉、山鳥ナドハ先月ノ二月ノ三十一日マデ……十一月一日カラ二月三十一日マデノ期間ノ外ハ、ソレ／＼鳥ニ付イテチャント保護ノ機關ガ備ハッテ居ルノデアリマスカラ、中ニハソレヲ密獵シテ撃ツ人モ

イトモ限ラス「ソレハ間違ヒダ、二月ニハ三十一日ハ無イト呼フ者アリ」併
シスノ如キ有様デアリマシテ又一方ニハ鳥ノ保護ト云フモノガ十分ニ出來テ
居リ、又此密獵ヲ防グト云フコトガ出來テ居ルカト云フニ甚ダ疑ハシイ、十
月ノ十五日カラ獵期即チ鳴ノ類ガ捕レル期間ニナルデアリマスガ、其前ニ
於テモ諸君ハ定メシ「テーブル」ノ上デ召上ッタニ相違ナイト信ズル、又私モ
食ベタコトガアルノデアル、併シソレ等ヲ取締ルニハ左様ムツカシイコトハ
ナイト思ヒマスガ、政府委員ノ話ニ依ルト、ナカ／＼地方官ニ命令スルケレド
モ、是ハナカ／＼容易ニイカヌノデアル、其鳴ナドハ渡リ鳥デアリマシテ、西
洋人ナドハ皆好ム、誰モ皆珍重スルト云フコトニナツテ、ソレヲ買フ人モアル
カラ賣ル人モアルト云フコトニナツテ、ソレヲ巡查ナラ巡查ガ鳴トカ、或ハ
捕ッテ惡ルイモノガ、ブラ下ッテ居レバ禁ジテモ宜イノデアルガ、實ハ巡查
スラモ是ハ鳴デアルトカ鶉デアルトカ云フコトヲ知ラナイ人ガ随分アル、實
際皮ヲ剥イテ仕舞ヘバ鶉ダカ鳴ダカ分ラヌト云フヤウナ場合モアリマス、
「ウマイ／＼」ト呼フ者アリ、「早クヤッテ呉レ」ト呼フ者アリ「此密獵者ト云
フモノハ非常ニ盛ナモノデ多分皆サンモ御承知デアリマセウガ、此銃獵者ト
カ又ハ遊獵ナドニ行ク人デナケレバ直接ニ目撃シタ人ハ少ナカラウト思ヒマ
スガ、十月ノ十五日カラ鐵砲ガ撃テル、前ノ日カラ澤山泊リ掛ケニ鐵砲ヲ撃
チニ行ク人ガアリマス、其前ノ晩ナドハ網ヲ張ッテ鳴ヲ捕ルコトガ盛デア
ル、殊ニ是ハ夜捕ル、鐵砲ノ方ハ寧ロ獵期以外ニ撃ツト云フコトハ、ナカ／＼難
イコトデ鐵砲ハ御承知ノ通り音モスル、網ハ音モシナイ上ニ夜掛ケテ置イテ
アッテ廣イ田デアルケレドモ鳴ノ來ル所ハ分ッテ居ル、ソレヲ夜皆ンナシテ
捕ッテ仕舞フ、サウ云フ風ニシテ、ドン／＼東京ニ持ッテ來ルト云フコトハ
日撃シテ居ル、デスノ如ク密獵ハ到底ナカ／＼防グコトハ出來ヌ位デア
ル、然ラバ其密獵スル目的ノ鳥ハ何カト云フト、決シテ内地ニ蕃殖スル鳥デナ
クシテ、多ク渡リ鳥デア
ル、又先達テ委員會デモ或ル方ガ述ベラレマシタガ、
ナカ／＼立派ナ紳士ガ雉ヲ撃ツ期間デナイノニ雉ヲ撃ツタ例シモアル、君ハ
撃ツタコトハナイカトサヘ言ハレタト云フ話デア
ル、併ナガラ是ハ矢張り
雉、山鳥ノ期間ガアッテ、之ヲチョット私ガ譬ヘテ申スト釣ニ行ク、私ハ釣ノ
コトハ餘リ深ク存ジマセスガ鰯釣ニ行クノニ、海ノ深イ所ニ釣ニ行ッタ所ガ
釣レナイ、若シ鰯ナラ鰯ヲ釣ル所デ鰯ガ掛ッタラ、ソレハ極ク少數デア
ル、極ク僅カナ場合デア
ル、ソレト同時ニ水田ニ行クニ付イテモ各、目的ニ依ッ

テ鳥モ變ッテ居ル、鳴ヲ撃チニ行クナラ水田ニ行ク、水田ニ行ッテ誤ッテ其
所ニ山カラ遊ビニ出テ居ッタ雉ヲ撃ツタ、成ルホドソレハ犯則ニ違ヒナイケ
レドモ、數ノ上カラ言ッテモ之ヲ以テ一例トスル程ノ數デハナイト思フ、ソ
レト又……「モウ分ッタ」「長イト否決ダヨ」「心機一轉スルゾ」ト述フル者アリ
ソレデ狩獵者ニ於キマシテハ後ノ十五日、即チアトノ四月ノ十五日カラ三十
日マデノ此十五日ト云フモノハ今マデハ舊ノ如ク長カッタ期間ノトキニハ行ッ
テ皆狩獵家ハ撃ッテ居リマスガ、鳴ノ特種ノ大キイ地鳴ト云フモノガ渡ッテ
來ル此頃ハソレガ獵期ガ延ビヌ爲ニ少シモ撃ツコトガ出來ナイ、或ハ營業ニ
スルケレドモソレヲ捕ルコトハ出來ナイ、併ナガラ密獵デハソレヲ澤山捕ッ
テ居ル、ソレカラ此後ノ危險ノコトハ前ニ御話イタシマシタガ、前ノ十五日
間延バセバ却ッテ農夫ハ獵ノ始マル日ヲ厄日ト稱ヘテ居ル、實際厄日デア
ル、非常ニ多數ノ遊獵者ガ來テ縱橫無盡ニ撃チ回ス隨分危險デ人モ撃タレルト云
フ話モ澤山アルヤウデアリマス、尤モ私ハ一遍モ人ヲ撃ツタコトハ無イノデ
アル、ソレユエ十月ノ一日ニ至リマスレバ、今ノ早稻ガ極ク僅カシカ刈レテ
ナイ、此所ガ私ハ早イ方ガ宜イト云フノデ殆ド田ニ人ガ出テ居ラナイ、ソ
レ故ニ十日モ經ツト云フト今マデ戰爭ノヤウニ大勢來タ人ガ殆ド僅カシカ來
ナイ、是等ノ鳥ヲ皆追散ラシテ仕舞フ、ソレデ今度、後ノ十五日ハドウデア
ルカト云フト延バシマシテモ無論、稻ハ無イ、其時ハ農夫ガ殆ド田ニ出テ居
ナイ時デ、田鳴ト云フモノハ極ク寒イ時デナク、始マリノ十月、又後ノ四月
頃ニ再ビ歸ッテ來ル、其時分ニハ殆ド人ガ居ラナイノミナラズ田ニハ餘リ散
ラズシテ御承知ノ茅ダノ或ハ葎、蘆ヲ皆刈ッテ仕舞ッタ跡、殆ドドウ踏ミ躪ッ
テモ害ハ蒙ラナイ、又幾ラ見渡ス限リノ無イヤウナ田ニ人ナドハ居ラナイカ
ラ決シテ危險ト云フ點ハナイ、故ニ實際ニ依ッテ申上ゲマスレバ、幾ラモ密
獵ヲ見タ例デア
ルトカ云フモノハ澤山アリマスルケレドモ、餘リ長クナリマ
スカラ此位ニ致シマシテ、私ハ此案ハ衆議院カラ回リマシタ通り、即チ此委
員會ニ於テ可決サレマシタ通りニ致シマシテモ即チ三十日間延バシマシテモ
餘リ害ガ無イ、害ガ無イトスレバ又一方營業ニシテ居ル所ノ鵝ヲ捕ルトカ或
ハ何ヲ捕ルトカ云フ營業ノ獵師ニモ利益ニナラナケレバナラナイノデア
リマス、故ニ此案ハドウカ原案通り滿場ノ諸君ニ於テモ可決アラムコトヲ希望
イタシマス

○男爵伊達宗敦君 チョット質問ガアリマス、長／＼ト御述べデシタガ、唯今

德川男爵が反對意見ヲ述ベル積リデハナカッタケレドモ伊集院子爵カラ反對意見が出タカラ已ムヲ得ズ述ベルト云フ御話デシタガ、大層長イ卷紙へ御書付ケニナッタ所ヲ見ルト、是ハ豫メテ御用意デアッタラウト思ヒマス、其御用意ハ感服イタシマス、サテ今ノ衆議院カラ回ッタル所ノ改正案ニ賛成ト云フコトデアリマシタガ、百姓モ迷惑セヌカラ差支ナイダラウ、斯ウ云フ御議論ト伺ヒマシタガ、ドウデスカ

○男爵德川厚君 延バサナイデモ迷惑ヲスル、ケレドモ延バシタ爲ニソレダケ殖エハセヌ……

○男爵伊達宗敦君 モウ一遍……サウスルト之ヲ延バサナケレバナラヌト云フ必要ガアリマスカ

○男爵德川厚君 モウ一遍ドウゾ、聴エマセヌデシタ

○男爵伊達宗敦君 能ク御聴キ下サイ、アナタハ御若いカラ……之ヲ延バスト云フ必要ガ何所ニアリマスカ

○男爵德川厚君 ソレハ今御話シタ通り一方ニ延バシテモ狩獵者ニ對シテハ……危險モ無ケレバ害モ無イ、シテ見ルト營業ニシテ居ル所ノ即チ網ナラ網デ捕ル、少シ十五日間遅クスレバ或ル地方ニ依レバ渡リ鳥デアレバ捕レナイ、ソレノ必要ノ爲ニ……唯單ニ狩獵者バカリデナク……御分リニナリマシタカ

○男爵伊達宗敦君 ハア、分リマシタ、私ハ此案ニ付イテハ少數意見ヲ出シタ一人デアリマスカラ極ク簡單ニ反對ヲ致シマス、自席カラ述ベタイト思ヒマス、是ハムヅカシイ問題デハナイ、今德川男爵ガ鳴ヲ何ニスルトカ食ッタトカ何トカ云フ御話ガアリマシタガ、ソナコトニハ是ハ關係ハ無イ、詰リ斯ウ云フコトナンデス、農商務次官モ述ベラレタ通り十月十五日ヨリ四月十五日マデト云フノヲ十月一日ヨリ四月三十日マデ、前後ニ於テ三十日延バスト云フコトニ致シマス……今政府委員カラ立派ニ言ハレタ通りソレニ相違ナイ、故ニソレニ賛成ノ御方ハ頻ニ鐵砲ヲ撃ツトカ何トカ云フコトヲ御述ベニナツテ網ノ獵ノコトハ餘リ重キヲ置カレナイ、失禮デアルケレドモ言換ヘレバ斯ウ云フコトニナル、密獵者ガ多イカラ、ソレニ捕ラレルカラ、ソレデ自分ガ早ク捕リタイ、斯ウ云フ勝手ナコトハ出來マイト思フ、ソレカラ衆議院カラ提出ニナツタ案ト云フモノハ最初政府委員カラ申サレタ通り即チ銃器ヲ用キザル限リノ狩獵ヲ許スト云フコトハ其譯ハ北陸地方ニ於テ或ル鳥、特

ニ「チヨウマドリ」是ハ鶇トモ申シテ其鳥ハ飛ンデ山ヲ越エテ來ル、其獵師ハ二十人カ三十人デアアル、僅カノ人數ノ人ガ「チヨウマドリ」ヲ捕ルノヲ自分ガ捕リタイト云フ爲ニ法律ヲ改正スルコトガ出來ヤウカ、況ヤ德川男爵ノ述ベラレタ如ク密獵ヲスルモノガアルカラ自分モソレニ負ケナイデ早ク撃チタイト云フ、ソナナ勝手ナコトハ御免蒙リタイト思フ、ソレデモ御賛成デアルカ、衆議院カラ出タ案ト云フモノハマルデタワイモナイ案ト云フコトハ一言ニシテ分ルト思フ、ケレドモ若シモ誤ッテ延バスト云フト實ニ農家ノ人ガ困ル、諸君ノ御承知ノ通り此頃ハ段々鳥ガ減ッテ來テ禁鳥ナド、云フモノガ出來テ居ッテ網デ捕ル或ハ「ヅクビキ」デヤッタリ木兔デヤッタリ、色々ナモノガアル、サウ云フモノハ植物ニ附ク蟲ヲ捕ル鳥、ソレヲ捕ラレテ仕舞ッテハ梨デアルトカ葡萄デアアルトカ云フ植物ニ蟲ガ殖エテ來テ農家ガ非常ニ困ル、一方ハ網デ濫獲ヲスルコトニナルト成ルホド捕獲鳥バカリ飛ンデ來レバ宜イガ禁止鳥デモ引掛ラヌトハ云ヘヌ、鳥ノ方デハ自分ガ禁止鳥ダカラ引掛ラヌト云フ譯ニハイカヌ、ソレカラ德川君ノ言ハレタ如ク「聴取シ難シ」サウ云フ譯デアリマス、ソレカラ危險ト云フ點ニ付イテモ德川男爵カラ述ベラレタ通りダラウト思ヒマスガ、之ヲ危險ト云フコトハ、イツノ時期デモ違ヒナイカ知レマセヌガ、要スルニ是ハ稻ノ刈込時ニ鳥ヲ撃ツ、其鳥ガ稻ノ中ニ落チタトキハ稻ヲ踏ンデ取リニ這入ル、是ハ少シ銃獵ニ御經驗ノアル者ハ御承知デアアル、農家ハ憐レナモノデ能ク稻ノ實ッテ居ルノヲ、ドブ田ノ中ニ踏込ンデ仕舞フ、斯ウ云フ種類ノ獵ヲスル者ハ寧ろ營業ヨリ娛樂デアアル、娛樂ノ爲ニ農業ノ稻ヲドブ田ノ中ニ踏込ム、若シモ德川男爵式ニ私ガ言ヒマスレバ私一個トシテハ年中撃タシテ貰ヒタイト思ヒマス、サウ云フコトハ苟モ道德アル者ノ言フベキコトデナイ、狩獵家モ道德ハ無ケレバナラス、人ヲ困ラセテスベキモノデナイ、餘リ長クナリマスカラ是ッキリ申シマセヌガ、ドウカ諸君農家ノ困ルト云フコトヲ御考ヘ下スッテ前後ニ於テ延バスコトハ御反對、即チ少數意見ノ通り委員會ノ可決スベシト云フコトニ反對シテ之ヲ否決スルト云フコトニ御賛成アラムコトヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス

○議長（公爵德川家達君）議事日程第十二、東京都制案、第十三、千代田縣設置ニ關スル法律案、第十四、東京都千代田縣組合法案、男爵松平正直君外五名發議、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長松平男爵

東京都制案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十五日

右特別委員長

男爵 松平 正直

貴族院議長公爵德川家達殿

千代田縣設置ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十五日

右特別委員長

男爵 松平 正直

貴族院議長公爵德川家達殿

東京都千代田縣組合法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十五日

右特別委員長

男爵 松平 正直

貴族院議長公爵德川家達殿

東京都制案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見
右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治四十二年三月十七日

侯爵 德川 賴倫
伯爵 松平 賴壽
男爵 園田 安賢

貴族院議長公爵德川家達殿

男爵 關 義臣
男爵 南 光利
男爵 南岩倉 具威

東京都制案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

本案ハ否決スヘキモノナリト認ム

千代田縣設置ニ關スル法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見
右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治四十二年三月十七日

侯爵 德川 賴倫
伯爵 松平 賴壽
男爵 園田 安賢
男爵 關 義臣
男爵 南 光利
男爵 南岩倉 具威

貴族院議長公爵德川家達殿

千代田縣設置ニ關スル法律案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見
本案ハ否決スヘキモノナリト認ム

東京都千代田縣組合法案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見
右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治四十二年三月十七日

侯爵 德川 賴倫
伯爵 松平 賴壽
男爵 園田 安賢
男爵 關 義臣
男爵 南 光利
男爵 南岩倉 具威

貴族院議長公爵徳川家達殿

東京都千代田縣組合法案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見
本案ハ否決スヘキモノナリト認ム

〔男爵松平正直君演壇ニ登ル〕

○男爵松平正直君 唯今議題ニ上ホリマシタ都制案、外二案ノ特別委員ノ經過ヲ御報道ヲ致シマス、此委員會ハ一昨十五日ノ午後一時ヨリ開キマシテ、政府委員ノ出席モ請ヒマシタ、而シテ先ヅ順序トシテ質問ヨリ始メマシタ所ガ追々種々ノ質問モアリマシタガ、其中賛成者ノ即チ提出者ノ或ル一人ヨリ此本年ノ都制案ハ年々提出ニナリマシタ案デアリマスカラ昨年ヨリ變ッタ廉ハ無イト一言デ申シマスレバ申シテ宜シイノデアリマスガ、其中ニ必要ナ廉ニ修正ヲ致シタ點ヲ説明セラレマシテゴザイマス、其説明ノ要點ハ昨年刑法ノ改マリマシタニ付キマシテ公權剝奪ト云フ附加刑ガ除カレマシタ爲ニ之ニ修正ヲ加ヘネバナラス箇條ガ出來テ居リマス、是ガ第一ノ修正ヲスル必要デアル、而シテ又尙ホ此文字ノ足ラナイ爲ニ意味ヲ貫徹セヌ廉ガアリマス、是等ノ條項モ修正ヲ致シマシタ、又第三ニ皇族ニ關係イタシマス納稅ヲ規定セラレマシタコトガアリマスガ、是等ハ前例ニ依ル方ガ宜イト修正ヲ致シマシタ、右等ノ廉ヲ條ヲ逐ウテ説明セラレマシタノデアリマス、ソレヨリ追々質問ヲ發セラレマシタ委員ガアリマシタ、其質問ノ要點ハ要領ヲ摘ンデ申シマスレバ斯ノ如キ條項ニナルノデアリマス、第一ニ今ノ市制ハ何故ニ東京市ニ適セスカ、其理由ヲ聞キタイ、又今一ツハ市制ノ弊害ト云フモノハ固ヨリ無イデハアルマイ、サテ其弊害タルヤ當局者其人ノ惡シキノミバカリデハアルマイ、ドダイ民心ノ腐敗シテ居ル所ハ其儘デハイカナイ、之ヲ芟除シ改良シ發達ヲ圖ラネバナラスト云フコトハ固ヨリ當然デアアル、然ルニ此制度ヲ開イタルバ其邊デ改良ガ出來得ル目的デアアルカ如何デアアルカ、斯ウ云フ質問モ出マシタ、又本會ニ第一ニ提出セラレタ時ノ提出者ノ一人ガ演說セラレマス中ニ、選舉ト云フモノハ、サウ權利ヲ爭フト云フヨリモ其目的タルヤ適任者ヲ得ルト云フノニアル、ソレデ此選舉ニ餘リ重キヲ置クニ及バスト云フ斯ウ云フ話ガアッタガ、其邊ハ既ニ與ヘタ權利ヲ適任者ヲ得サヘスレバ宜シイト云ッテ、ソレニ重キヲ置カスト云フ意味デアアルカ、其邊ハ尙ホ一應承リタイト云フヤウナ質問ガ、マア要領ヲ摘ンデ申シマスレバ右等ノ質問ガ起リマシ

タ、ソレニ答ヘラレタ賛成者ノ一人ハ、成ルホド今ノ御話ハ御尤デアアルガ……
第一ノ質問ニ御答ヘ申サレマシタノハ現今ノ制度ニハ實際上缺點ハ免レナイ、此缺點ハドウ云フ點デアルト云ヘバ、兎ニ角此御膝元ノ中ニ行政ノ階級ガ多キニ失スル、此市ノ大ナル上ニ府ガアル、其上ニ内務大臣、市カラ直チニ内務大臣ヘ出セバ直チニ處置モ出來ルモノヲ、ドウシテモ府ト云フモノガアレバ、府ノ手數ヲ經ナケレバナラス、又市ノ參事會ノ如キ即チ此合議體デ行政ノ機關トナッテ居ル、是等ノ如キハ實ニ差向キ困難デアアルニ相違ナイ、ソレガ爲ニ多少ノ弊害アリト云ハレルノモ勢ヒ此制度ノ然ラシムルコトニアリムヲ得ヌコトガアルカモ知レナイ、右等ノ點ハ不適當ト言ハザルヲ得ナイ、マア改良スベキ必要ナ點ヲ摘ンデ申セバ、サウ云フヤウナ廉ハ多クアリマス云フヤウナ答デアリマシタ、又第二ノ質問ニ答ヘラレマシタノハ固ヨリ民心ヲ洗濯スル、教育ガ必要デアアル、併シ此制度ヲ改良シタラ人心ガ直チニ洗濯ガ出來得ルトハ云ヘマセヌ、サリナガラ又人心ヲ改良スル、教育ノミニ依頼シテ少シモ是ハ制度ニ關係シナイモノトモ言ヘナイ、制度ハ制度デ出來得ルダケ改良ヲ促スガ當然デアアル、教育ト制度ト相待ッテ其民風、其行政宜シキヲ得ルト云フコトデナケレバナナルマイト思ヒマスル、斯ウ云フヤウナ答デアリマシタ、ソレカラ第三ニ選舉權問題云々ノ問ヒニハ如何ニモサウ聞エマシタカ知レマセヌガ、決シテ與ヘタ選舉權ヲ奪フヲ以テ目的トシタ話デハゴザイマセヌ、此都制ノ選舉ノコトハ都制組織ノ結果トシテ已ムヲ得ズ出ルノニ止マルノデアアル、決シテ此選舉ハ輕イモノダカラ、ドウデモ宜イ、官選デモ民選デモ公選デモ何デモ宜イトカ、斯ウ云フヤウナ工合デ申シタ譯デハ是ハ毫モナイノデアリマス、ドウゾサウ御了解クダサレト云フヤウナ答ヘデゴザイマシテ、質問モ隨分數多ク出マシタガ、要領ハ右等ノ點デアリマス、而シテ質問ヲ終リマシタカラ、是カラ討議ニ移ルト云フコトデ、討議ニ這入リマシタ次第、其間ニ政府委員ニ質問サレテ、政府委員ガ答ヘラレタコトモアリマス、其政府委員ノ答ヘラレタ廉、問ハレタ廉ハ一々申セバ長クナリマスカラ、略シテ宜シイガ、其要領ヲ一言シマスレバ、一體此自治ノ制度ハ行政ノ監督ガ届キサヘスレバ自治モ發達スベキモノデアラウ、行政監督ハドノ邊マデ注意セラレテアルカ、是ガドウモ一番大事デアアルガ其邊ハ如何デアアルカ、ト云フヤウナ問ヒデアリマシタ、ソレニハ政府委員ハ、イヤ御尤デアッテ、行政ノ監督ニ於テハ決シテ油斷ヲセヌノミナラズ、飽クマデ注意ヲスル積リ

デアル、サリナガラ自治ノ仕事ハ行政ノ監督デ爲シ得ルモノダトハ言ヘナイ、自治ノ仕事ヲ行政ノ監督デスルト言ヘバ、取リモ直サズ自治ノ仕事ヲ官廳ガ取ツテシテヤラネバナラナイト云フモノデ、サウ云フコトハ到底出來得ラレマセヌ、固ヨリ行政上ハ飽クマデ注意ハ致シ居ルト云フ答ヘ、又モウ一ツアリマシタノハ、昨年ハ政府ハ此制度ニ對シテ不同意ヲ言ウタ、今年ハ政府ハドウ此案ニ對シテハ考ヘテ居ラレカ、殊ニ市町村制ヲ政府ハ昨年モ提出ニナツテ撤回サレタ、アノ案ハ十分ニ調査セラレタモノデアラウガ、ソレ等ハ此案ト或ハ衝突ヲシナイカト云フヤウナ意味ガアリマシタ、トコロガ政府ハ、イヤ其事ハ決シテ市町村ノ制度ト是トハ自ラ制度ガ別ナルモノデ、兩々行ハレテ少シモ間ガ無イト思ヒマスル、ソレデ此都制案ハ貴衆兩院ヲ通過イタシタト云フコトニナレバ、政府ハ之ヲ決シテ拒ムドコロデハナイ、之ヲ可トスル積リデアリマスル、同意ヲ表スル次第デアル、殊ニ此市町村制ノ如キ、何レノ時機ニ於テカ改正ヲセネバナラナイト見込デ居リマスカラ、時機ヲ見テハ議會ニ提出スルト云フ順序ニナラウト存ジマス、斯ウ云フヤウナ答ヘデアッタ、是ハ其答ヘデ相濟ミマシテ、ソレカラ討論ト云フコトニナリマシタ、討論ト云フコトニナリマシタガ、反對者ノ或ル一人ノ說ハ其要ヲ摘シデ申シマス、二三ノ御方ガ述ベラレタガ、要ヲ摘メバ一ツニ歸スル、其要點ハ現今ノ市制デ少シモ差支ハ無イ、小規模ナリト言ウテ此制度ヲ變更スルニ及バナイ、折角自治制ノ發達ヲ圖ルト云フ先進國ノ例ニ依ッテ此自治制ヲ施イテ居ルノニ、未ダ十分成長モシナイ先キニ改良ヲスルトカ、改正センナラヌト云フコトハ、第一ニ其必要ヲ見ナイ、如何ナル理由デサウナルカ、甚ダ其當ヲ得タトハ思ハレナイ、殊ニ選舉權ノ如キハ既ニ公選ヲシ得ラレルトニ市制デハナリ居ルモノヲ此都制ガ行ハレバ選舉スルコトガ出來ナクナル、斯ノ如キモノハドウモ同意ノ出來ナイコトデアル、又或ル一人ノ申サレルノニハ、殆ド此制度ハ自治制ノ退步デアル、漸ク進マウトスル自治ヲ此都制退步セシムルト云フコトハ如何ニモ遺憾ヲ極メル次第デアルカラ、同意ハ出來ナイト云フガノ理由、又或ル反對者ノ說ニ此千代田縣……東京市ヲ除イタアトノ千代田縣ノ如キハ、良イモノヲ採ッタ跡ノ滓ノ塊リノヤウナモノニナル、誠ニ是ハ遺憾ナ話デ、他日ハ東京都ト交渉ノ結果ハ面倒ナモノデアラウト思フカラ、是モ反對ヲセネバナラナイ理由ニナルト云フヤウナ說デアリマス、先ヅ是ガ反對ヲナサレタ廉ノ要ヲ摘ンデ御話申シタ所デア

リマス、トコロガ賛成者ノ或ル一人ハ之ニ對シテ論ゼラレマシタ、其要點ヲ摘ンデ申シマスレバ、反對者ノ御議論ハ一應御尤ニ聞エルガ、此法案ト云フモノハ自治制度ノ退步トハ何等ノコトデアリマスルカ、其根據ハ何カラ起ッタコトカ、甚ダ了解ニ苦ミマス、決シテ退步デハナイ、能ク此制度ノ精神、組織ノ順序ヲ咀嚼ナサレテ見タナラバ思ヒ半バニ過クル、却ッテ是ハ東京市制上ノ進歩發達ト云フ法案デハアリマセヌカ、ナゼナラバ、是マデハ一般ニ三階級デ、内務大臣ノ下ニ府知事アリ、府知事ノ下ニ市町村ガアル、斯ウ云フノヲ此度ハ府知事ヲ除イテ直チニ内務大臣ノ管轄ニ屬スルトナレバ、一級上ニ階級ヲ合セテ其位地ニ進ンダト言ハネバナラナイ、シテ見レバ退步デナイ、其方カラ言ヘバ進ンダト言ハザルヲ得ヌ、殊ニ此制度ハ自治制ノ外ニ此制度ヲ設ケルト云フコトデハ毫モアリハシナイ、ドダイ此都制ヲ斯ウ組織シタノモ、謂ハユル國家行政ト自治行政トヲ調和シ、而シテ複雜ナコトハ省キ、又便ニ爲シ得ルダケハ便ヲ圖ル、而シテ行政ノ圓滿、自治行政ノ進歩ノ出來ルヤウニト云フノヲ目的トシテ組立テタ此法案デアレバ、決シテ是ガ退步トカ、權利ヲ阻害スルトカ云フモノデハアリハシナイ、サリナガラ組織ノ結果トシテ、或ハ公選トナリ、官選トナルト云フ種々ノ選舉ト云フ如キモノ、問題ハ生ジテ來ルケレドモ、能ク之ヲ咀嚼シテ見レバ決シテ之ヲ官選ニセネバナラナイト云フ所ヨリ組織シタ譯デハナイノデアル、デ固ヨリ又教育ガ無ケレバ人心ノ改善ハ出來ナイ、無論是ハ教育ニ希望ヲスルガ、又教育バカリニ依頼スルモノデハナイ、此制度ハ其制度宜シキヲ得テ、教育ト相俟ッテ制度ノ改良、行政ノ進歩發達ヲ促スト云フノハ是ハ何レノ時代ヲ問ハズ必要ナコトデアラウト思フ、其制度ハ決シテ其目的以外ノコトデナイ、其目的ノ最モ必要ト云フモノデアラウト考ヘマスル、ト云フヤウナ趣旨デアル、斯ノ如キ次第デアルカラ、右ノ反對ノ諸君ノ御說ニハ感服イタシ兼ネル、遺憾ナガラ御同意シ兼ネルカラ、飽クマデ本案ヲ賛成イタシマスル、ト云フ賛成者ノ御意見デアル、右等ノ討論後採決イタシマスル所ガ、謂ハユル其同數デアリマシテ、委員長ガ一人其賛成ト云フ方ニ同意シマシテ、一人ノ多數ト云フモノデ可決ニ相成リマシタ次第デゴザイマス、右ノ次第デゴザイマスカラ、モウ昨年此都制案ハ既ニ出テアルノニ此都制案ニ付イテ今更研究スルト云フコトモナイホド御了解ダサレタモノト本員ハ深ク信ジマスルカラ、ドウカ右等ノ委員會ノ討論ヲ能ク御考ヘ下サレマシテ、ドウゾ此都制案外二案共二十分

御同情ヲ以テ御賛成クダサルコトヲ幾重ニモ希望イタシマス、此アトノ二案
謂ハユル千代田縣設置ニ關スル法律案、東京都千代田縣組合法案、此二案ニ
於キマシテ別ニ委員會ニ於キマシテ毫釐ノ議論モ無ク本案ノ通り可決シタ次
第デゴザイマス、此段御報道イタシマス、何卒御賛成アラムコトヲ希望シマ
ス

○議長(公爵徳川家達君) 段々通告者ガゴザイマスカラ、暫時休憩イタシマ
ス

午後零時三十三分休憩

午後一時二十七分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、園田
男爵

〔男爵園田安賢君演壇ニ登ル〕

○男爵園田安賢君 本員ハ本案ノ委員ノ一人デゴザイマシテ、委員會ニ於キ
マシテ、本案ニ就キマシテハ提出者ニ向ッテ種々質問ヲ致シマシタガ、其答
辯ニ依リマスルト、遺憾ナガラ本案ニ賛成スル理由ヲ見出サスノデアリマス、
本案ハ之ヲ要スルニ東京府管轄ヲ二分シテ郡部ニ千代田縣ヲ置キ、市部ハ都
制ト云フ一種異様ナル制度ヲ設ケマシテ、而シテ官選ノ都長官ナル者ヲ置キ
マシテ此官吏ニ自治ノ行政ヲ執行セシメタイト云フノデアリマス、故ニ私ノ
見ル所ハ、本案ハ自治制度ノ精神ヲ没却シタル案ト言ハナケレバナラヌト思
フノデアリマス、萬一本案ガ通過スルコトニナリマシタナラバ、自治行政ノ
精神ハ死スルノデアリマス、其理由ハ御承知ノ通り自治行政ノ性質ナルモノ
ハ專ラ地方即チ自治團體内ノ利害ニ關スル政務デアルノデアリマス、故ニ國
家ハ團體内ノ人民ニ深ク責任ヲ負ハセマシテ選舉權ヲ與ヘ、自治機關ノ上ニ
立ッ所ノ市長ヲ始メ人民ノ選舉ニ成立ツコトニナッテ居ルノデアリマス、即チ
是ガ自治ノ妙味、自治ノ精神デアルト思フノデアリマス、而シテ此人民ノ選
舉權ナルモノハ人民ニ取リマシテハ甚ダ重大ナル事柄デアッテ、且ツ甚ダ名
譽トスル所ノモノデアリマス、故ニ國家ノ基礎根本タル市町村ノ自治制度ナ
ルモノガ果シテ必要ナルモノトシテ行ハレテ居ル限リハ、此選舉權ヲ容易ニ
奪フコトノ出來ナイモノデアラウト信ズルモノデアリマス、又現ニ行ハレツ
、アル所ノ自治制度ナルモノハ進歩シタル制度ナルカ否ヤト云フ問題ヲ起シ

マシタナラバ、之ヲ先進國ノ制度ニ比較シテ見マシテモ、最モ進歩シタルモ
ノナリト言ハネバナラヌト思ヒマス、然ルニ人智發達ノ程度ト云ヒ富ノ程度
ト云ヒ其他進歩シタル自治行政ヲ施行スル上ニ於テ種々ノ條件ヲ具備シテ居
ル所ノ此東京ニコソ之ヲ依然行ハネバナラヌ筈ノ所ニ、他ノ市制ハ依然其儘
ニ置イテ、東京ノミヲ變更シテ都制ヲ施キタイト云フコトハ、甚ダ平仄ノ合
ハス話デハナカラウカト思フノデアリマス、斯様ニ申シマシタナラバ、提出
者ハ東京ノ市政ハ紊亂シテ居ル、弊害ガアル、故ニ獨リ東京ノ市政ノミヲ改
正スルノ必要ガアルト言ハレマセウガ、如何ニモ東京市ノ有様ハ甚ダ紊亂シ
テ弊ガ多イト云フコトハ殆ド輿論ノヤウニ承ッテ居リマス、併ナガラ私ガ見
ル所ニ依リマスルト、自治行政ニ弊害ノアルト云フコトハ、獨リ東京市バカ
リデハナイ、中ニハ立派ナ所モアリマセウガ、凡ソ百歩五十歩デアル、然ル
ニ東京市ノコトガ斯ノ如ク喋々議論ニ上ボリマスルノハ僅ニ東京デアッテ、ハ
タガ進歩シテ居ル、社會ノ制裁モ他ニ比較シマスルト發達シテ居ル、制裁力
モ發達シテ居ル、故ニ斯ノ如ク議論ガ喧マシイノデアリマシテ、此點ニ付イ
テハ誠ニ結構ナコト、思フノデアリマス、然ルニ此弊害デアリマスル、其弊
害ハ私ノ見マスル所ハ人心ノ腐敗ヨリ來タシタル弊害デアッテ、決シテ制度其
モノ、罪デナイト云フコトヲ斷言スルノデアリマス、其證據ハ御承知ノ通り、
各種ノ選舉ノ有様ヲ御覽ナサイ、又各種ノ議會ミタヤウナモノ、有様ヲ御覽
ナサイ、又各種ノ營利會社ノ有様ヲ御覽ナサイ、尙ホ甚シキコトハ、彼ノ日
露戰爭ハ帝國ノ存亡ニ關スル戰デアッタノデアリマスルガ、アノ場合ニ當ッテ、
我々同胞ノ中ニ我が國情ヲ敵國ニ内通スルト云フ、謂ハユル露探ト稱シテ要
部要部ヲ追放サレタ者ガ幾人ゴザイマシタカ、サウシテ之ニ對スル一般ノ人
心ハ如何ナル有様デゴザイマシタカ、諸君ガ御承知ノ通りノ有様デアアル、故
ニ此一般ノ腐敗ヲ矯正スルト云フコトハ甚ダ必要デゴザイマセウ、從ッテ市
政ノ弊ヲ矯正スルト云フコトハ、他ニ方法ヲ講ズルト云フコトハ、最モ必要
デアラウト思ヒマス、故ニ私ハ本案ノ提出者ハ實ニ見當ヲ違ッテ居ラル、
誠ニ露骨ニ遠慮ナク申シマスレバ、醫者ガ微毒患者ヲ治療スルニ、其病源ヲ
究メズシテ、膏藥ヲ貼ッテ治療スルト云フヤウナコト、殆ド同一デアルト思
フノデアリマスル、又謂ハユル角ヲ矯メムトシテ牛ヲ殺スノト同様デアルト
思フノデアリマス、以上述べタル所ガ本案ニ對スル第一ノ理由デアリマス、
第二ノ理由ハ、東京府ノ管轄ヲ二分スルコトニナリマスルト云フト、千代田

縣ノ位置ハ如何ナル有様デアリマセウカ、恰モ饅頭ノ餡ヲ抜キ去ッタ後ノ滓ミタヤウナ有様デアルト思フデアリマス、然ルニ地方行政ノ進歩發達ヲ圖ラムトスルニハ、經濟上ノ關係ヲ圓滿ニ致シテ、人民ヲシテ負擔ニ苦痛セシムルト云フコトノ無イヤウニスルコトガ、甚ダ大事ト思フデアリマス、今日マデハ均シク市部モ郡部モ東京府廳ノ管轄デアリマスルカラ、恰モ家族ヅキアヒミタヤウニナッテ居リマシテ、市部ノ人民ハ郡部ヲ補助のニ多クノ負擔ヲナシテ以テ圓滿ニ行ハレテ居リマスルガ、是ガ千代田縣ト都ト云フコトニナッテ、判然管轄ヲ分離スルト云フコトニナリマシタナラバ、都ト千代田縣トノ聯關事業ニ支辨スル所ノ經費ノ負擔ノ上ニ於テ、私ノ見ル所デハ言フベカラザル紛糾ヲ來タシテ、甚ダ面倒ガ生ズルデアラウト思フデアリマス、此點ニ就キマシテ提出者ニ憂フル所ハ無イデアラウト云フ質問ヲ致シマシタラ、提出者ハ簡單ニ、組合法ニ依ッテ其分擔ハ定ムルデアルト言ハレマスルガ、唯今申上ゲマシタ通り、如何ニ立派ナ組合法ガ設ケラレマシタモ、管轄ヲ異ニスルト云フコトニナリマシタナラバ、人情、勢ヒ、到底、是マデノヤウナ圓滿ナル結果ヲ見ルト云フコトハ難イコトデアラウト信ズルデアリマス、是ガ本員ガ本案ニ反對スル所ノ理由ノ第二デアリマス、諸君、本案ハ是マデニ屢、本院ヲ通過シテ居ル議案デハゴザイマスルガ、併ナガラ我々モ此度ニナリマシテ、深ク調査ヲ遂ゲ、深思靜考イタシマシタル結果、以上述べタルガ如キ意見ニ相成ッタデアリマス、故ニ何卒諸君ニ於カレマシテモ、少數意見ニ御賛成クダサレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 鎌田榮吉君

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 本員ハ都制案ニ反對スル一人デアリマス、其反對ノ理由ヲ簡單ニ述ベテ、諸君ノ御參考ニ供シタイト思ヒマス、此都制案ハ當貴族院ニハ數回提出セラレマシテ、數回トモ可決ニナリマシタ案デアリマシテ、此賛成ノ理由ハ度々述べラレテアリマスケレドモ、比較的、之ニ反對スル所ノ反對理由ハ少シク是マデ述べ足りナイカト思フデアリマスカラ、聊カ重複ノ虞ガアリ、且ツ園田男爵ヨリ大抵ハ御述べニナリマシタガ、尙ホ私ノ考ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此自治體ナルモノヲ發案者諸君ノ御考デハ甚ダ輕キモノニ考ヘラレテ、殊ニ又選舉權ト云フコトニ付イテハ、單ニ人物ヲ得ル所ノ方法ニ過ギナイト云フコトニ承ッテ居リマス、成ルホド近來此東京ノ市政ガ紊亂シ

テ居ルト云フコトハ天下ノ人皆之ヲ認メル所デアリマス、私ドモニ於キマシテモ亦深ク之ヲ憂ヘマシテ、ドウカシテ之ヲ救フ所ノ策ハ無イモノデアラウカト云フコトヲ常ニ考ヘテ居リマス、併ナガラ之ヲ考ヘルト云フモノハ畢竟自治體ヲシテ其本職ヲ全ウセシメタイト云フ點カラ考ヘルデアリマシテ、此自治體ヲ破壞シテ唯之ニ代フルニ官選市長ヲ以テスルトカ、其他自治ノ精神ニ反對シタル所ノ組織ヲ以テ其目的ヲ達シヤウト云フニ至ッテハ、是ハ絶對のニ反對デアリマス、之ヲ物ニ例ヘテ見レバ、恰モ病ヲ治スル爲ニ其人ノ生命ヲ奪フノト同ジコトデアアル、何ノ爲ニ病ヲ治スルノデアアルカト云ヘバ、其人ヲシテ健全ナル生活ヲ得セシメルト云フコトガ目的デアアル、然ルニ、成ルホド如何ナル不治ノ病ト雖モ、如何ナル難治ノ病ト雖モ、生命ヲ斷テバ即坐ニ治ルニ決マッテ居リマス、併ナガラ其人ノ命ヲ奪ウテ其病ヲ治スルト云フコトハ甚ダ其目的ニ背イタコト、考ヘマス、果シテ又其自治制ヲ破壞シテ之ヲ官治ニシタ爲ニ東京ノ市政ガ圓滿ニ行ハレルカト云ヘバ、是ハ大ニ疑ヒ無キヲ得ヌノデアリマス、畢竟此市制ヲ施カレタ趣意ト云フモノハ、其當時ノ詔勅ニモアリマスル通りニ、斯ウ云フコトヲ仰セラレテ居ルノデアアル、市制ノ詔勅ハ朕地方共同ノ利益ヲ發達セシメ衆庶臣民ノ幸福ヲ増進スルコトヲ欲シ鄰保團結ノ舊慣ヲ存重シテ益、之ヲ擴張セムガ爲ニ市制ヲ布クト云フトガ詔ラレテ居ルノデアリマス、是ハ、私ガ申上ゲルマデモナク十分諸君ノ御承知ノコトデアリマス、又其市制ニ於テハ、市ハ法律上一個人ト均シク權利ヲ有シ、義務ヲ負擔シ、凡市ノ公共事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス、自ラ之ヲ處理スルモノトス、ト云フコトガゴザイマス、又凡市公民ハ市ノ選舉ニ參與シ及市ノ名譽職ニ選舉セラル、ノ權利アリ、又其名譽職ヲ負擔スルハ市民ノ義務ナリトス、斯ウ云フコトニ規定セラレテ居ルノデゴザイマシテ、決シテ發議者ノ言ハル、如キ輕々タルモノデナイコトハ此詔勅及此市制ノ明文ニ依ッテ明カナコトデアリマス、然ルニ發議者ノ一人タル穂積博士ノ御説ニ承リマスルト云フト、能ク世間ノ新聞ナドデハ、選舉權ト云フコトヲ非常ニ重ク見テ、此選舉權ヲ奪フト云フコトハ既得ノ權利ヲ奪フノデアルトカ、又選舉權ハ神聖ナルモノデアルトカ、此選舉權ヲ行使セズシテ市ノ吏員ヲ選ビ、或ハ名譽職ヲ選舉スルコトハ甚ダ宜シクナイト云ッテ居ルガ、是ハ大ニ誤ッタ考ヘデアアル、選舉ハ唯人ヲ選ブ方法ニ過ギナイノデアアルカラ、官選ト云ヒ民選ト云ヒ其選タルヤ一ナリ、之ヲ選ブト云フ以上ハ、

其選舉ノ手續ヲ簡單ニシテ其人ヲ得ルノ目的ニ該當スルモノヲ以テシタナラバ、ソレデ宜イノデハナイカ、又是ハ公權デアル、私權デナイ以上ハ既得ノ權利ヲ剝奪スルト云フガ如キ嫌ヒハ毫モ無イト云フ、斯ウ云フ御説デアル、是ハ深ク御研究ノ結果カラ出タモノデアリマセウケレドモ、私ドモハ其説ニ服従スルコトハ出來難イノデアリマス、現ニ市制ニハ其明文ガアル、市ハ一個人ト均シク權利ヲ有シ義務ヲ負擔スルト云フ譯デアリマスカラ、市ハ即チ法人デアル、無形人デアル、團體デアル、此團體、此法人ガ一個ノ自然人ト同一ノ權利ヲ授ケラレタ以上ハ、之ヲ今日奪ヒ去ルト云フコトハ其既得ノ權利ヲ剝奪スルニアラズシテ何ゾヤ、ソレデ無論此公權ト私權トノ異ナルコトハ我々不肖ト雖モ存ジテ居ルノデアリマシテ、此公權ナルモノハ權利デアルガ爲ニ自己ノ利益ノミ考ヘテ、サウシテ之ヲ賣ラウトモ、又之ヲ貸サウトモ、又人ノ爲ニシヤウトモ隨意デアルト云フ譯ニハ行カヌ、ト云フ御説デアリマスガ、是ハ無論ノコトデアッテ、獨リ公權ノミナラズ私權ニ於テモ亦同ジコトデアリマス、例ヘバ己レガ刀ヲ有ッテ居ルカラ人ヲ切ッテモ宜イカト云ヘバ、ソレハ惡ルイニ決マッテ居ル、又己レハ金ヲ有ッテ居ルカラ之ヲ甚ダ惡シキ目的ニ濫用シテモ宜イカト云ヘバ、是モ矢張り惡ルイト言ハナケレバナリマセヌ、ソレ故ニ私權ト公權トノ間ニ自ラ區別ノアルコトハ無論ノ譯デアリマシテ、此公權ナルモノハ權利デアルト同時ニ是ハ義務デアル、自己ノ權利ヲ保護シ自己ノ安全ヲ保護スル爲ニ用キル所ノ權利デアルガ、又ソレト同時ニ自己以外ノ鄰人ノ爲ニ之ヲ善用スルト云フ義務ヲ負擔シテ居ルト云フコトハ、是ハ無論ノ話デアリマシテ、決シテ之ヲ亂暴ニ使ッテモ宜シイト云フ譯デナイコトハ申スマデモナイ話デ、是ハ苟モ常識ヲ備ヘタ者ハ誰シモ承認シテ居ルコトデアル、今更喋々斯ノ如キ論ヲ爲スニハ及バヌト考ヘルノデアリマス、是ハ即チ各選舉人ニ就イテ申サレタモノト思ヒマスガ、選舉人ニ就イテ言ハズシテ東京市ナルモノニ就イテ言フモ市制ハ即チ是ハ一個人ト看做シテ自然人ト同一ノ權利ヲ授ケラレテ居ルノデアリマス、即チ東京市ニ、汝ガ戴ク所ノ市長ハ汝自ラ選ビ、市民ヲ代表スル市會ハ汝自ラ之ヲ選ムベシト云フコトヲ、東京市ナル人ニ授與セラレテ居ルノデアリマス、是ハ市制ノ明文ニ依ッテ明カナコトデアリマス、併ナガラ當初此權利ヲ授ケラル、際ニ當ッテ、東京市ハ大都會デアル、又京都或ハ大阪、此三府ハ他ノ小ナル都市トハ同一ニ見ルコトハ出來ナイカラ、先ヅ特別市制ヲ施カレテ居ッタノデアリマ

ス、此特別市制ハ御承知ノ如ク、大都會ニ向ッテ同一ノ市制ヲ施クトキニハ如何ナル混雜ヲ生ズルカモ分ラヌト云フ所カラ、事ヲ苟モセズ、慎重ニ慎重ヲ加ヘ、假スニ數年月ヲ以テシテ、其準備ノ整ウタ所ヲ見テ、初メテ此特別市制ヲ廢シテ他ノ一般ノ市制施行地ト同一ニ純然タル自治體ニセラレタモノデアリマス、斯ノ如ク假スニ準備ノ年月ヲ以テシタル爲ニ、他ノ市ヨリハ餘ホド市制ヲ施行セラレタ年月ガ淺イ譯デアアル、其年月ガ淺イ故ニ他ノ市ハ既ニ二十年ニ近イ間、自治制ヲ行ッテ居リマスガ、東京市ハ僅ニ十年ノ經驗ヲ積ンダノミデアアル、ソレデ此地方自治體ナルモノハ決シテ單純ナル組織トハ最初カラ思ハナイ、誠ニ是ハ複雜シタモノデアアル、如何トナレバ各個人ニソレ相應ノ權利義務ヲ負擔サセテ、サウシテ己レノ事ハ己レ自ラ之ヲ處理スル、市ノ事務ハ市自ラ之ヲ處理スルト云フ複雜ナル組織ヲ以テ自治ノ目的ヲ達シヤウトスルノデアリマスカラシテ、經驗ヲ積ムマデハ隨分混雜モ起ッタ、之ガ爲ニ隨分紛亂モ起ッタ、腐敗モスルト云フコトハ當初覺悟ノ前デ實行シタコトデアラウト思ハレル、然ルニ發議者、殊ニ穗積君ノ御説ニ依リマスト云フト、是ハ徳川侯爵ノ御問ニ答ヘラレタ速記デアリマスガ、其要點ヲ申シマスト云フト、斯ウ云フコトガ書イテアル、市ト云フモノハ色々此組織ガ混雜シテ居ッテ、市會ト申シタ所ガ様々ノ人ガ多數寄ッテ、而シテ其中ニハ黨派モアリ、又利害ノ關係カラシテ互ニ種々ノ朋黨ヲ結ンデ、而シテ種々ノ運動ヲ爲スガ故ニ、甚ダ混雜ヲスル、斯ノ如キ混雜ナル組織デハ、如何ナル人モ先ヅ市ノ行政事務ニ當ルコトハ避クルデアラウト斯ウ言フコトデアル、是ハ最初カラ分ッタコトデアル、議會ナルモノハ混雜ナルモノデアル、單純ナルモノデナイ、多數ノ人ガ寄レバ、ソレダケ組織ガ複雜ニナルダケ、種々ノ利害得失、種々ノ權利、種々ノ階級ガ衝突ヲシテ、種々ノ紛擾ヲ生ズルト云フコトハ、獨リ市會ノミナラズ、衆議院ニ於テモ又其他ノ議會ニ於テモ常見ル所デアアル、今日現ニ貴族院ニ於テモ此伯子男ノ人數ノ改正ニ付イテモ各爵ノ人々ヨリ色々ノ議論ガ出マヌヤウナ譯デ、畢竟代議政體自治制ト云フモノハ各階級、各種ノ利害、各種ノ性質ヲ代表スルガ爲ニ設ケタ所ノ組織デアリマスカラシテ、混雜ヲスル、喧嘩ヲスル、黨派ヲ結ブカラ、イケナイト云フナラバ、固ヨリ自治制トカ、市會トカ、參事會トカ云フヤウナ面倒ナモノヲ置ク必要ハ無イノデアアル、色々各種ノ階級、各種ノ利害ヲ議場ニ代表セシメ、市ノ行政上ニ之ヲ代表セシムルガ爲ニ造ッタ所ノ制度デアルカラ、斯

ノ如キ現象ヲ生ズルノハ決シテ是ハ弊害トハ申セナイ、當初ノ目的デアル、其目的タル所ノモノヲ代表シテ、ソレニ向ッテ相當ノ政事ヲ相當ニ行ッテ行クト云フノガ市長ノ職務デアリマスカラ、今日之ヲ喋々ト論ジテ怪シムダケノ價值ノ無いモノデアラウト私ハ考ヘルノデアル、即チ穂積君ノ御説ニモタバ人ヲ名指スト云フ外ニハ選舉ト云フコトハ意味ノ無いモノデアル、人ヲ名指スノハ利害ノ關係ノ最も多イ人ガ指名スルノガ最も人ヲ選ビニ親切ノ選ビ方デアルカラ、自治體ニ於テハ自治體ノ利害ヲ以テ最も親切ニ考ヘル人ヲ選ブガ宜シイ、ソレハ異存ハナイ、異存ハナイガ既得權ヲ殺グト云フコトニ至ッテハ大ニ疑ナキヲ得スト云フコトヲ度々仰セラレテ居リマスガ、今申上ゲルヤウニ市ト云フ自治體ノ既得權デアル、是ハ確カナコトデアル、一個人ト同視セラレタ既得權ヲ剝グコトハ無論ノ話デアラウト私ハ考ヘテ居ル、而シテ此東京市ナルモノハ果シテ自治ニ適シナイモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ深ク御研究ニナッタ結果カト考ヘマスケレドモ、是ハ到底左様ナ譯ニハ申サレマイト思フ、市制ヲ施クト云フニハ先ヅ相當ノ市デ無ケレバナラス、相當ノ人口モアリ、相當ノ智德モ進ミ、相當ノ財力モ整ッテ居ル所デナイト完全ナル市制ヲ行フ譯ニハ行カヌノデアル、而シテ此東京ハ第一、天下ノ人物ノ淵藪デアル、又富力ニ於テハ殆ド他ノ數府縣ヲ合シタ位ノ富ヲ有ッテ居ルコトハ確カデアル、又市トシテノ設備、營造物ヲ建設スル上ニ於テモ東京市ホドノ便宜、東京市ホドノ力ヲ有ッテ居ルモノハ無いノデアル、カルガユエニ若シ天下ニ於テ市制ヲ施スニ適當ナルモノハ何デアルカト言ヘバ、先ヅ東京市ヲ指サネバナラス、併ナガラ人口ガ多クナリ、事ガ多クナッテ複雑ニナル程ニ種々ノ弊害ガ多イ、東京市ハ百六十万人ノ人口ガアル、而シテ此東京市ニ於テ現ハレテ居ル所ノ市政ノ紊亂、市政上ノ弊害ナルモノハ、他ノ十万人ノ都市ノ十六倍アッタカラト言ウテモ別ニ怪シムニ足リナイ、是ハ紊亂ノ方ノ側カラ申シテ十六倍デ、或ハ事ニ依レバ、モットソレ以上ニアルカモ知レヌガ、又善イ方ヲ言ヘバ美點モアリ、強點モアルデアラウト考ヘル、併シ東京市ヲ以テ我々ハ是デ満足スベシ、是デ以テ宜シイトハ申サス、甚ダ如何ハシイコト、甚ダ我々ノ厭忌スベキコトハ多イノデアリマスカラ、是ハドウシテモ正サナケレバナラス、之ヲ矯正スルコトハ無論大切ナコトデアル、然ラバ其弊害百出スルノ原因ハ何レニアルカト考ヘルト、是ハ市會ノ程度ノ低イト云フコトニナル、東京市ヲ代表スルニハ少シク今日ノ現狀ガ不當デアル、東京

市ナル高等ノ市ヲ代表スルガ爲ニハ市會ノ現狀ハ比較的劣等デアルト斷言シナケレバナラス、劣等デアッテ深イ理窟ハアリマセヌガ善イ人物ガ入ルコトハ少ナイ、今日デモ善イ人物ガ入ッテ居マスガ、善イ人物ハ比較的、之ニ加ハルコトハ少ナイ、是ハ日本デモ外國デモ東京デモ地方デモ、地方議會ナルモノハ兎角人物ノ標準ガ高クナイガ爲ニ種々ノ弊害ヲ濫出スルト云フコトハ極ク普通ノコトデアル、之ニ努ムル所ハドウカシテ善イ人、善イ人ハ必ズ數ガ少ナイ、併ナガラ善イ人ヲ此會ニ交ヘテ上智ト下智ヲ觸接セシムルト云フコトガ必要デアル、常産ノアル人、德望ノアル人、知識ノアル人、信用ノアル人、人格ノ高い人ヲ交ヘテ、上下相觸接セシメテ議會ノ地步ヲ高クセシムルト云フコト、即チ向上セシムルト云フコトハ、東京市ノミナラズ何レノ地方ノ議會デモ努メナケレバナラスノデアル、中央政府モ成ルタケ之ニ向ッテ施設ヲ爲シ、一般ノ社會モ具眼者先導者ハ之ニ向ッテ及ブダケノ力ヲ盡シテ、成ルベク地方議會ノ地步ヲ高クスルコトヲ努ムルコトハ即チ先覺者ノ職務デアラウ、具眼者ノ義務デアラウト考ヘテ居ル、即チ都制案ヲ發議セラレ、又都制案ヲ贊成セラレタ所ノ諸君ノ如キ中ニモ東京市公民タル諸君ガ多イデハナイガ、東京市ニ住居ヲ構ヘラレテ市公民タル權利ト義務ヲ有セラル、所ノ方々ハ隨分澤山アル、此諸君ノ如キ名望アリ、此諸君ノ如キ知識アリ、諸君ノ如キ人格ヲ以テシテ此市政ニ一臂ノ力ヲ與ヘタナラバ、市政刷新ノ如キハ敢テ困難事デナイト云フコトヲ私ハ斷言スルノデアル、併ナガラ是ハ當席ニ於テソレホド直接ニ申スベキコトデナイカモ知レヌ、併ナガラ此案ハ度々出テ度々唯空シク可決セラレテ居ルガ爲ニ、私ハ此事ヲ敢テ直言スルノデアル、私會テ申シタコトガアル、東京市ハ決シテ人物ガ足リナイガ爲、又智德ノ程度ガ低イ爲ニ市政ガ紊亂スルト云フノデナクシテ、實ハ市政以上ニ餘リ高キ人格、餘リ高キ學問、餘リ高キ名望ガ多過ギル爲ニ、市政ハ下ノ方ニ沈澁シテ腐敗シテ居ルト云フコトヲ戲レニ申シタコトガアル、併ナガラ此戲レノ言葉タルヤ事實ヲ穿ッタモノデアルト私自ラ信ジテ居ル、即チ貴族院或ハ衆議院ト云フ國家ノ議政府ニ於テソレハ盡サル、諸君ナラバ、等シク此市ノ爲ニモ多少ノ御盡力ガアッタナラバ、市政刷新ト云フコトハ決シテ困難事デナイ、ソレ等ノ方法ヲ盡サズシテ直チニ自治體ヲ撲滅シテ、之ニ代フルニ都長官ヲ置キ、自治ニ代フルニ官治ヲ以テスルト云フコトハ私ハケシカラス大早計デアラウト考ヘテ居ル、而シテ此松平男爵其他ノ御説ニ依ルト都長官ト云フモ

ノハ、決シテソレホド反對者ガ喧マシク言フヤウナ如キ意味デハナイ、全ク此自然ニ、都制案ノ組織上自然ノ結果デ此所ニ至ッタモノデアル、如何トナレバ今日ノ市制ナルモノ、上ニハ府ト云フモノガアリ、内務省ト云フモノガアツテ、三階級ニナツテ居ルカラシテ、之ヲモット單純ナ組織ニシナケレバナラス、即チ都長官ト云フモノヲ置イテ、サウシテ此都長官ガ直接ニ内務大臣ニ隸屬スルト云フコトニナツタナラバ、大ニ市ノ事務ヲ舉グルニ都合ガ宜シイガ、併ナガラ是ハ即チ取りモ直サズ府縣知事ト同格ノモノデアル、東京市ハ一足飛びニ出世ヲシテ、即チ府縣ト同格ニ昇ッタノデアル、然ラバ此長官ヲ民選ニスルト云フコトハナイ、ドウシテモ是ハ一等官トカ、親任官トカ云フ官選ニシナケレバイカヌデヤナイカ、サウデナイト權衡ヲ得ナイト云フヤウナ御論デアッタヤウニ考ヘマス、併ナガラ是ハ私ハ一毫モ道理ノ無イコトデアル、何故ニ位ガ良クナッタ爲ニ官選ニシ、位ガ低イガ爲ニ民選ニシナケレバナラスト云フ必要ガアルカ、斯ノ如キ御議論ヲ滔々ト述べラレル、即チ如何ニモチヨット拜聽スルト云フト御尤モノヤウニ聞エマスケレドモ、ドウシテモ私ハ之ニ服スルコトガ出來ナイ、全ク形式的ノ話デアリマシテ、民選賤シクシテ、官選高キト云フ理窟ハ何所ニアル、若シ又成ルホド此複雑ナル組織ヲ減ジ得ルナラバ、減ズルコトハ至極宜シイカモ知ラスガ、減ジタガ爲ニ自治ノ精神ニ悖ッテ之ヲ官選ニシナケレバナラス、サウデナイト權衡ガ取レナイ、斯ウ云フコトハ誠ニヲカシイ話デアリマシテ、ソレナラバ其市ノ位ト云フモノガ若シ府知事ニ屬セズシテ、今度直接ニ内務ニ屬スル、モウ一步進メテ内務大臣ガ自ラ市ノ行政ヲ執ルト云フコトニナツタナラバ、尙ホ位ハ尊クナルガ、即チ自治ト云フモノハ、ソレニ依ッテ益進ムト云フコトニナリマセウカ、内務大臣自ラ市長ノ職務ヲ執ッタト云フトキ、或ハ内閣總理大臣自ラ之ヲ直轄スルト云フトキニナツタ時ニハ益、自治ガ進シタト云フコトハ常識ニ於テ思ハレナイ、唯此成ルベク政府ニ近クナレバ近クナルホド、此組織ガ完全シタモノデアル、制度ガ向上シタモノデアルト云フヤウナモノデヤナイ、サウ云フ譯ノモノデナイ、低イトカ高イトカ云フ論デナイ、例ヘバモウ一級下ッテモ成ルベク此市民自ラガ市政ヲ處理スルト云フコトノ實ヲ完ウスルノガ、即チ市政ノ進歩ヲ意味スルノデアル、ソコデ市會デアルト云フト、種々ナ事情ガアツタリ、種々ノ黨派ガアツテ、到底一等ナ人物ヲ選ビ得ナイ、是ハ寧ロ官選ニシテ、政府ガ適當トスル所ノ者ヲ選バレタナラバ、果シテ人

物ヲ得ルト云フ說デアアルガ、ソレガ私ハ頗ル疑ヒヲ懷クノデ、官選ニシタナラバ、ドウシテヨリ良キ人物ヲ得ラレカト云フコトハ、甚ダ解シ得ナイコトデアアル、私ドモノ考デハ東京市ノ市長ナルモノハ、是ハ市民全體百六十万ノ市民ノ屬望スル所トナツテ、此市民ノ屬望ヲ雙肩ニ荷ッテ、市長ノ地位ニ立ツト云フコトガ名譽デアルト云フガ爲ニ、學識アリ、財産アリ、名望アル、人格高イ人ガ或ハ得ラレルカモ知レス、併ナガラ是ハタゞ一等官デアルトカ、タゞ重モナル役人デアアル、而シテ内務大臣ノ下ニ屬スル所ノ人デアアル、斯ウシタガ爲ニ民選以上ノ人ガドウシテ得ラレルカ、少シモ證據ノナイ話デアアル、我々例ヘバ此所ニマア市長トシテドウカ戴キタイ人デアルト云フ人ヲ、例ヘバ五人數ヘテ、五人ノ人ガ總テノ方面カラ考ヘテ市長タルニ適任ノ人デアアル、之ヲ得ルニハ此人ヲ親任官、一等官ト云フ名稱ヲ附ケテ、此人ガ果シテ引受ケテ立ツカ、或ハ是ハ市ノ名譽職デ、市ノ即チ公選、民選ニ依ッテ市民百六十万ノ信仰ヲ得テ、其名望ヲ荷ッテ市長ノ地位ニ立ツカ、斯ウ云フ事ヲ五人ノ人ニ疑問ヲ掛ケタナラバ如何デアリマセウ、成ルホド種々ナ參事會トカ云フモノハ、随分ウルサイ面倒ナモノデアアルガ、併ナガラドウシテモ是ハ官吏デアアルガ爲ト云フヨリモ、即チ此市民ノ選舉デアルト云フガ爲ニ、公選ノ結果デアアルガ爲ナラバ、己レハ其任ニ當ッテ見ヤウト答ヘル人ハ五人ノ内三人トハ言ヒマセス、四人或ハ五人マデモ皆其說デアアルカモ知レス、然ラバ之ヲ民選ヲ廢シテ官選ニシタナラバ首尾ヨク人物ヲ得ルコトガ出來ルト云フコトハ、到底私ハ信ジナイ所デアリマス、併ナガラ之ニ一步ヲ假シテ官選ニスレバ民選ヨリモヨリ良キ人物ヲ得ルト云フコトニ假定シタ所ガ、此市長ノ人物ヲ舉ゲルト云フコトバカリガ、決シテ自治ノ目的デハナイ、成ルホド人物ハ惡ルイヨリモ良イ方ガ宜シイ、併ナガラ市長ノ人物ガ上ガルト云フコトガ決シテ目的デハナイノデ、成ルベク市民ノ輿望ヲ荷ッタ人ガ市民ニ代ッテ市ノ事ヲ自ラ處理ヲスル、即チ市民自ラ市ノ事ヲ處理スルト云フ自治ノ精神ヲ完ウスルト云フコトガ目的デアリマスカラシテ、假令如何ナル人物ガ之ニ當ラウトモ、官選デアツテハ、モト／＼自治ノ精神ニ背反シタモノデアルト云フコトハ申スマデモナイ、又市長ガ良キ人デアッタト云フダケデ、市政ガ改善スルカト云フト、決シテサウ云フ譯ノモノデナイ、官選ニナツタガ爲ニ改善スルカト云フト、決シテサウ云フ譯デナイ、即チ今日ノ東京市ノ有様ニクツツイテ居ルダケノ弊害ト云フモノハ、ドウシテモ附イテ回ッテ來ルノデアリマシテ、多

少此人ガ善イ惡ルイト云フコトニ依ッテモ、相違ガ起ッテ參リマスケレドモ、ナカノ之ヲ官選ニシタカラ弊害ガ無クナルトカ、民選ニシタカラシテ弊害ガ多イトカ云フコトハ、誠ニ取ルニ足ラナイ議論デアッテ、例ヘバ他ノ府縣ニ於テ官選知事ガ監督シテ居ル爲ニ、地方行政ノ上ニ何等ノ弊害モ無イカト云フニ無イドコロデハナイ、甚シイ稅政弊害ガ日々湧出シテ居ルト云フコトハ、諸君御承知ノ通りデ、決シテソレ等ノ爲ニ弊害ヲ一洗スルト云フコトハ無イ、多少ノ違ヒハ何レカニアルカ知ラヌガ、兎ニ角弊害ヲ除クト云フコトハ、サウ云フ簡單ナコトデハイケナイ、成ルベク東京市ノ市民タル人ノ中デ人格ノ高い人ガ其局ニ當ラヌ以上ハ、到底之ヲ期スルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、ソレカラ又斯ウ云フ說ガアル、之ヲ官選ニシナケレバナラヌト云フ理由ハ、都市自身ノコトデナクシテ、此國務ヲ代表スルト云フ……國務ヲ代表スル以上ハ之ヲ官選ニシナケレバナラヌ、成ルホド國務ヲ代表スルガ、國務ヲ代表スルト云フノニ付イテ、必シモ之ヲ官選ニセンナラヌト云フ理由ハ何レニアルカ、是モ私ノ問ハムト欲スル所デアリマシテ、外國ノ都市長ナドモ國務ヲ代表シテ居ル、其中警察權……警察ト云フ方面ニ於テハ、常ニ中央政府ヲ代表スルヤウニナッテ居ルヤウデアアルガ、東京市デハ警察權ハ警視廳ト云フモノガ行ッテ居ル、警視廳ガ高等警察モ一般ノ警察モ皆掌ッテ居ル、サウシテ見ルト、先ヅ地方官ノ市長ノ代表スベキ國務ノ中、一番大切ナ、一番大ナルモノ即チ警察權ト云フモノハ、既ニ現在ニ於テモ除カレテ居ル、然ラバ他ノ收稅ノ事ハドウカト云フニ、即チ是ハ市長自身ガ行ハズトモ稅務署ト云フモノガアッテ行ッテ居ル、又此徵兵トカ何トカ云フコトニ於テモ、是ハ市長モヤレバ區長モヤル、市長以下ノ公吏モ皆之ヲ行ッテ居ルノデアリマスカラ、國務ヲ代表スル爲ニ是非コレガ官選デナケレバナラヌナドト云フコトハ、コレモ私ノ決シテ服スルコトノ出來ナイ議論デアアル、斯ノ如ク論ジ來タリマスルト云フト、一トシテ此官選市長ヲ置イテ、自治制ヲ根柢カラ撲滅シテマデモ、都制案ヲ實行シナケレバナラヌト云フ必要ハ毫モ見ナイ、多分先ヅ之ヲ物ニ喩ヘマスト云フト、丁度道樂息子ガアッテ、ソレヲ懲ラシメノ爲ニ、貴様ハ道樂ヲ止メナケレバ廢嫡スルゾ、或ハ勘當スルゾト云フノト大抵同ジ位ノモノト私モ是マデ考ヘテ居ッテ、全ク此都制案ナルモノハ廢嫡案デアアル、東京市ト云フ大キナ團體ヲシテ居ル道樂息子ニ、ナゼ言フコトヲ聞カナイ、ナゼ他ノ弟スラ行フモノヲ行ハナイデアアルカ、即チ廢嫡勘當ヲ以テ威シテ之ヲ直サウト

スル、即チ全ク此贊成者諸君ノ厚イ御親切カラ起ッタモノデアルト思ッテ、其點ニ於テハ私ハ非常ニ感謝ノ意ヲ表スル、併ナガラ世人中ニハ随分詐カラ出タ誠ト云フコトモアッテ、サウ云フコトヲ度々言フト、終ヒニハ本當ニ勘當シナケレバナラヌコトニナル、本當ニ廢嫡シテハ大變デアアル、本當ニ勘當ラシテハ大變デアアル、或ハ廢嫡シテ市制ヲ奪フコトガ大ニ國家ノ爲ニナルト考ヘテ居ラル、諸君モアルカ知ラヌガ、多數ノ諸君ハ一時ノ空砲デ、決シテ實丸ハ這入ッテ居ラヌ、空砲ヲ放ッテ……併ナガラ先刻モ狩獵法案ノ時ニドナタカノ御話ノアリマシタ通り、空砲ヲ放ッテ惡鳥ヲ逐フト云フコトモ、或ル時期ノ間ハ必要デアアルガ、鳥ト雖モ魂ガアルカラ、餘リ度々空砲ヲ放ッタラ、空砲デアルト云フコトヲ知ッテ遂ニハ逃ゲナイヤウニナル、ドウゾ是ハ貴族院ハ、天下ノ人ガ最も是等ノ點ニ於テ、大切ナル制度ヲ保存スル點ニ於テ、貴族院ニ信賴スル心ノ厚イモノデアリマスカラ、貴族院ガ毎年毎年此自治制ヲ廢スルトカ市制ヲブツ潰ストカ云フヤウナコトヲ言ハレルコトハ、餘ホド之ヲ戒シムル、戒飭スルト云フ點カライッテ多少ノ效ハアリマシテモ、併ナガラ又之ニ付イテ大ニ天下ノ人ノ疑惑ヲ懷ク所トナッテ居ル、事ニ依ルト貴族院ハ東京市ノ市制ヲ廢シ隨ッテ是ガ全國ニ波及スルヤウニナリハスマイカト云フコトヲ杞憂スル所ノ人モ決シテ少ナクハナイノデアアル、サウシマススト云フト、今日ハ則チ最早目的ハ達シテ居ル、都制案ノ目的ト云フモノハ達シテ居ル、市ノ當局者ハ、隨分市民ノ中ニハ是ハ何トカシナケレバナナルマイ、今日ノ情況デハ到底忍ブコトハ出來ナイト云フコトハ、人々ノ頭ニ深く印象ヲ與ヘタヤウデアリマス、此印象ヲ與ヘレバ都制案ノ目的ハ既ニ達セラレタノデアアル、其印象ヲ與ヘタニモ拘ラズ尙ホ之ヲ可決シ可決シマスルト云フコトハ甚ダ面白クナイ話デアッテ、遂ニ是ガ貴族院ノ、世間ノ人ハ見テ以テ輿論ト爲シ、都制案ハ貴族院ノ輿論デアルト云フガ如ク見ラル、ノハ、私ドモハ固ヨリ、贊成者諸君ニ於テモ決シテ御本懷デナカラウト恐察スルノデアリマスカラ、ドウカ是ハ本年限りデ否決スルト云フコトニ私ハ致シタイト思フ、即チ最初朗讀イタシマシタ所ノ詔勅ノ、地方共同ノ利益ヲ發達セシメ衆庶臣民ノ幸福ヲ増進スルコトヲ欲シ鄰保團結ノ舊慣ヲ存重シテ益之ヲ擴張スルト云フ方ノ精神デ參リタイモノデアアル、又市ハ法律上一個人ト均シク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡ソ市ノ公共事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ市自ラ之ヲ處理スルモノデアアル、又市民ハ市政ニ參與シ市ノ名譽職ニ選舉セラル、權利ガアル、ソレデ市民各自ノ權

利ヲ重ズルノミナラズ、市ト云フ一個ノ團體ノ是マデ得來ツテ居ル權利ヲ何トカシテ奪ハレナイヤウニ保護シテ、即チ東京市ハ天下ノ市ノ模範デアツテ、東京市ガ率先シテ一般ノ自治ノ向上ヲ爲サシムルト云フ所マデ努ムルト云フコトガ、今日此都制案ニ賛成セラレタ諸君ニ私ノ最モ希望ヲ屬スル所デアリマスカラシテ、ドウカ此微衷ヲ察セラレテ、此案ハ本年限り之ヲ否決シテ、來年度ヨリハ之ヲ提出シナイト云フコトニ御同意ヲ願ヒタイト私ハ考ヘル

○江木千之君 箇單ニ意見ヲ自席カラ述ベタウゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○江木千之君 此都制案ニ付キマシテハ、先刻來園田男爵又續イテ鎌田君モ之ニ反對スルノ御説モアリマシタガ、此都制案ハ久シイ間ノ問題デアリマシテ、其反對意見モ屢々承ル所デ、今日別ニ耳新シイ御説デハナイヤウデアリマス、又斯ノ如キ久シイ問題デ地方制度ノ改正上ニ付イテ、耳新シイ説モ有ラウ筈ハ無イノデアリマス、唯此都制案ニ對シテハ〔聴取シ難シ〕耳新シク感シタ次第デアリマス、ソレデ本員ハ本案提出者ノ一人トシテ議事ノ順序上、一言イタシタイト考ヘマスガ、是亦別ニ耳新シイ説ハ決シテ無イノデアリマスガ、此東京ノ現在ノ制度ニ對シテ此儘繼續シテ行クコトガ出來ルカドウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルニ、此案ヲ初メテ提出シテ以來今日ニ至ルマデノ……今日ニ至ッテハ尙更此儘デ過ギルコトハ出來ナイト云フ感ジテ深クスルノデアリマス、其第一端ノ重モナル點ハドウカト云フト、此大キナ團體ノ行政ニ對シテ、今日ノ如キ府廳ノ組織、今日ノ如キ府知事ノ位置ヲ以テ、十分ニ監督スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトガ第一ノ重モナル問題デアアルノデアリマス、此點ニ付イテ是ハ机ノ上ノ議論デナク、實際ニ於テ能ク其事歴ヲ觀察シテ見マスルト、彼ノ特別市制ヲ廢シテ以來、十餘年ヲ經テ居リマスガ、此間ニ府知事タル者ガ、市ノ出納ニ就イテ検査ヲシタコトガアルカ、市ノ金庫ニ就イテ檢閲ヲ致シタコトガアルカ、書類帳簿ニ就イテ検査ヲ致シタコトガアルカ、如何ナル監督ヲ行ツテ居ルカト云フコトニ付イテモ、本員ハ如何ニモ此事ガ厲行サレテ居ルト云フコトハ知ルコトガ出來ヌノデアリマス、又今日市ノ事業ノ中ニ於テハ、餘ホド淹滞ヲ來タシテ居ルヤウナ事實モアル、之ヲ久シク〔聴取シ難シ〕居ルト云フヤウナ有様デアリマスガ、第一ノ監督官廳タル府知事ハ之ニ對シテ如何ナル監督ノ處置ヲ執ツテ居ルカ、之ヲ甚ダ實際ニ就イ

テ見マスルト、監督ノ實ガ舉ツテ居ルトハ思ハレヌノデアアル、又近年電車ノ市有ト云フコトガアリマスガ、此市ノ計畫ニ對シテモ如何ナル監督ヲシテ居ルカ、府知事ト此上ノ監督官廳タル内務省ノ間ニハ密接ノ關係ガ有ルニモ拘ハラズ、府廳ノ意見ト内務省ノ意見トハ一致ニ出デルコトハ出來ナカッタノデアリマス、現在ノ此監督ノ有様ニ付イテ見マスルト、概ネサウ云フ有様ニナツテ居ルノデアリマスルガ、サテハ府知事其人ヲ得ザル爲ニ斯ノ如キ事ニナルノデアアルカ、ドウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルニ、机ノ上ノ論ト致シマスレバ、監督ヲ厲行スルガ宜イデハナイカト、サウ云フ議論モ出マスガ、ナカク實際ニ於テハサウ參ラヌノデアアル、決シテ東京府ノ知事ガ代々其人ヲ得ナイト云フノデハナイ、今日ノ制度デハ東京市ノ大ナル團體ノ行政ヲ監督スルノハ、頗ル是ハムヅカシイ事デアアル、誠ニ全國各地方……各地方ニ於テ地方ノ自治體ヲ監督スル有様ハ、ドウナツテ居ルカト云フコトヲ見マスルト、府縣知事ガ市町村ヲ監督シマスルノニ、先ヅ府縣廳ノ下ニ在ル方ヲ監督スルト、郡部ニ在ル所ノ町村ヲ監督スルトハ、其趣ヲ異ニシテ居ルト云フコトハ、是ハ事實デアリマス、地方ニ在ル所ノ小サイ市ニ對シテ、府縣知事ノ監督スル有様ガサウデアアル、況シテ此東京ナル大都會ノ行政ニ付イテ、此現在ノ如キ組織ノ府廳デアリ、現在ノ如キ府知事ノ位置ヲ以テシテ、之ヲ十分ニ監督スルト云フコトハ、到底實際ムヅカシイ事デアアル、其人ノ宜シキヲ得ナイノデヤナイ、眞ニ是ハ制度ガ宜シキヲ得ナイノデアアル、ソレデ此東京ノ制度ヲ改正スルニ付イテハ、第一、府知事ノ監督、府廳ノ組織ヲ廢メナクテハナラス、今日ノ東京府ノ郡部ヲ除イタル府民ト、東京市ト云フ自治體トヲ合シテ、之ヲ一團トシテ、サウシテ茲ニ此行政……此團體ノ行政ハ直接ニ内務大臣ガ之ヲ監督スルト云フコトニシナクツテハ、到底此團體ノ行政ヲ十分ニ發達セシメ、十分ニ其效ヲ舉ゲルト云フコトハ出來ナイ、斯ウ云フ點ガ、今日東京ノ制度ヲ改正スルト云フコトノ輿論デアリマシテ、是ハ久シク本院ノ院議トナツテ居リマスルガ、當ニ本院ノ院議ニナツテ居リマスノミナラズ、衆議院ニ於テモ東京ノ市制ヲ此儘ニシテ置クコトハ出來ナイト云フ點ヨリシテ、改正案モ屢々提出ニナツテ居リマスルガ、其改正案ニ於テモ此點ハ意見ガ全ク一致シテ居ルノデアリマス、デ先刻ハ空砲ヲ放ツモノデアルトカ云フ色ノ比喩モアリマシタガ、比喩ハ如何様ニモ出來ル、比喩ノ言葉ヲ以テ彼是レ申シマセヌガ、決シテ斯ノ如キ輕々タル考ヲ以テ此制度ノ改正案

ヲ提出イタシタモノデハナイ、其點マデハ本院モ衆議院モ意見ガ一致シテ居ルノデ、即チ輿論ト申サレルモノデアラウト考ヘルノデアリマス、然ルニ改正ノ案ナルモノハ何所マデモ……〔聴取シ難シ〕サテ是等ノ大キナル團體ヲ造ツテ此團體ヲ支配スル所ノ市長ハ如何ニスルカト云フコトニ於テ衆議院ノ意見ト本院ノ意見ト相違ヲ致スノデアリマスルガ、其點ニ付キマシテハ是マデノ説明ハ府知事ト市長ト合シテ一體トスルノデアルカラハ是ハ官選ニシナケレバイカスト云フ如キ單純ナル説明ニナツテ居リマスガ、本員ハ此點ニ付イテ今少シク説明ヲ致シテ置キタイト考ヘマスル、サスレバ先刻鎌田君ノ述べラレタ如キ趣意カラ、此ハ出タノデハナイト云フコトハ自ラ明カニナラウト考ヘルノデアリマス、此事ヲ委シク説キマスルニハ即チ大ナル團體ノ行政ニ任ズル所ノ市長都長官ガ如何ナル性質ノ事務ヲ執ルカト云フコトヲ分析シテ見ルノガ必要デアラウト思ヒマスルガ、本員等ノ考案ニ依リマスルト、此都長官ト云フ者ハ府知事ト市長ヲ合シテ一ニナシタモノデアルカラ、知事ノ事務ガ都長官ニ歸シテ行クノデアアル、此知事ノ事務ヲ今暫ク之ヲ數字ニ依ツテ示シテ假ニ之ヲ一万ト致シタラバ知事ノ執ツテ居ル所ノ仕事ノ一万ト云フモノハ都長官ノ事務ニ當ツテ居ル、ソレカラ其府知事ノ執ツテ居ル一万ト云フ事務ハ概シテ是ハ國家ノ行政事務デアルト申シテ宜カラウト考ヘル、即チ國政事務デアアル、ソレカラ市長ガ今日取扱ツテ居ル所ノ事務ハ是モ先ヅ數字ヲ當嵌メテ一万トシマス、此一万ノ中デ市ノ自治體ノ事務ト國政事務ガドウ云フ割合ニナツテ居ルカト申シマスルト、本員ノ考ヘル所デハ國政事務ガ三四分、團體ノ謂ハユル自治事務ガ六七分、斯ウ云フ割合ニナル、シテ見マスルト此都長官ノ取扱フ所ノ事務ハ都合二万デアアル、其二万ノ中デ一万三四千ト云フモノハ是ハ國家ノ行政事務ニ屬スルモノデアアル、其六七分ガ自治團體ノ行政事務デアルト云フコトニナラウト思ヒマスル、今此團體ニ於テ斯ノ如キ性質ノ職員ヲ置クトシマシテ、之ヲ置ク場合ニハ誰ガ之ヲ選ブノガ至當デアルカト申シマシタナラバ、一万三四千ト云フ多分ノ事務ヲ扱フ所カラ適當ノ人ヲ選ブト云フコトハ當然ノコトデハナイカト考ヘルノデアリマス、第一、法理論ハ暫ク措イテ、其事務ノ性質ニ照ラシス様ナ意味ニナルコトデアラウト考ヘマス、即チ澤山ノ國家事務ヲ取扱ハス所ノ國家ガ其人ヲ選ミ舉ゲルコトガ自然ノ結果ダラウト考ヘルノデアリマス、唯徒ラニ官選ヲ喜ブト云フガ如キ趣意デハナイノデゴザイマス、是ガ都官長ヲ國家ヨリ選ブト云フ本員ナドノ主張イタ

シマス所ノ大趣意デアアルノデゴザイマス、ソレカラ尙ホ此都制ヲ實施スルト自治ノ破壊デアアル、都制ヲ實施スレバ自治ヲ破壊スルモノデアルト云フ説ガゴザイマスガ、自治ト云フコトハ如何ナルコトデアアルカ、イヅレハ翻譯ノ言葉ト思フノデアリマスガ、此自治制ヲ行ツテ居ル所ノ根本タル國ニ於テ、實際ノ制度ナリ、又學者ノ議論ナリ、自治ト云フコトノ上ニ自治體ノ市長ヲ選舉スル、此選舉スルト云フコトガ正理デアルト云フコトガ、實際論ナリ、又學理ナリニ果シテアリマセウカ、本員ハ此大都會ノ制度ヲ議スルニ當ツテハ是等ノ學理ヲ一應承ツテ置キタイト考ヘルノデアリマスガ、果シテ左様ナ學問上ニ事ガアルノデアラウカ、ドウデアラウカ、本員ノ淺學ナル所デハ斯ノ如キ議論ハ今日マデ見ダサスノデアリマス、從ツテ此制度ヲ行フコトガ自治ノ破壊デアルト云フコトハ更ニ考ヘスノデゴザイマス、ソレカラ先刻鎌田君ガ現行制度ヲ固ク執ツテ自ラ自ラト云フコトヲ繰返サレマシテ自ラ治メルモノ、此ノ自ラト云フ字ニ非常ニ力ヲ入レテ言ハレマシタガ、此ノ自ラト云フコトニ付イテハ自ラ制限ガアル、或ル事件ニ付イテハ官ノ保護ヲ受ケナケレバ實施スルコトガ出來ヌト云フコトハ自治制ニ載ツテ居ルノデゴザイマス、唯一概ニ自ラトアルカラ何モ彼モ自分デヤルト云フ如キ解釋ハ付カヌモノデアラウト思フノデアリマス、其他申述べタイコトモアリマスガ本員ガ多ク時間ヲ費ヤスコトハ憚リマスカラ其邊ハ止メテ置キマスルガ、此案ハ實ニ本院ノ成案デアアル、本院ノ院議デアリマスル、ドウカ本年モ強盛ナル勢ヲ以テ本院ヲ通過セムコトヲ偏ニ希望イタシマス

〔討論終結ト呼フ者アリ〕

〔穂積八東君「意見ヲ述べタウゴザイマス」ト述フ〕

○議長〔公爵徳川家達君〕 穂積君

〔穂積八東君演壇ニ登ル〕

○穂積八東君 此際既ニ討論終結ト云フヤウナ小サナ聲モ聽エマシタ次第デアリマスカラ、甚ダ此大問題ニ付イテ述べベキコトハ多ウゴザイマスケレドモ、遺憾ナガラ簡單ニ御挨拶ヲ致シテ此案ノ通過ヲ希望イタシテ置キタイト思ヒマスル、唯今御兩君、園田男爵及鎌田君カラ有力ナル御反對ノ御演説ガアリマシタ、謹ンデ拜聴イタシマシタ、此案ニ付イテ御反對デアルト云フ以上ハ、定メシ此案ノ内容ニ付イテ缺點ヲ御示シニナルコトガアラウ、或ハ然ラズンバ今日ノ東京市制……東京ニ行ハレテ居ル所ノ市制ノ十分ナル御辯護

ヲ聞クコトデアラウト思ヒマシタラバ、御兩君ノ御演説トモ些々タル私一個ノ委員會及此席ニ於テ述べタル穂積一個ノ議論ニ對シカヲ極メテ御反駁ニナルヤウナコトデゴザリマシテ、此案其モノニ付イテノ折角ノ有力ナル御意見ヲ拜聽スルコトノ出來ナカッタノハ甚ダ残念デゴザリマス、私ノ意見ハ定メシ粗漏デアツテ間違ヒモ多カッタデゴザイマセウ、言葉モ足リマセズ、趣意モ足リマセズ致シマシタラウカラ間違ッタコトモ澤山アルデアリマセウ、御兩君ノ御注意ニ依ツテ大ニ反省スルコトモアリマス、私ノ意見ナドハドウモ宜シイ、滅茶滅茶ニ踏潰サレテモ一向差支ナイ、唯皆サンガ此案ニ賛成サヘシテ下サレバ宜シイデアリマス、故ニ一々辯解ハ致シマス、此案ニ反對ナサル御方々ノ御意見ハ絕對デアルト云フコトガ、私モ餘リニ甚シイノデ残念ニ存ジマス、何カ此都制案ノ中デモ此點ハ宜シクナイガ、此點ハ採ルベキ所ガアルトカ何トカ云フ少シハ御取捨ノ御意見ガアルカト思ッタラバ、マルデ是ハイケナイモノデアアル、其反對ガ今日ノ市ノ情態、今日ノ市制ガ完全ナモノデアルト云フ御意見デアアル、ドウデスカ知ラン、此間ニ御反對ノ御方モ御兩君ノミナラズ澤山アルデアリマウガ、其御兩君ノ代表セラレタ所ノ御意見デ皆サンハ御満足デアアルカ、ドウカト云フコトハ、時ガアレバ一々伺ヒタイデスガ、ソレガ爲ニアトノ人ヲ誘ヒ出シテ却ツテ時ガ潰レテモイケマセヌカラ伺ヒマセヌガ、ドウモ一概ニ御兩君ガ言ハレタヤウデモアリサウモナイ、御兩君ガ仰シヤル通りニ唯一概ニ惡ルイト云フコトハ無イ筈デアアル、一々御兩君ノ御舉ゲニナツタ點ニ付イテ辯駁スルコトハ出來マセヌ、大體ノ御議論デアリマシタケレドモ、喋々ト御述べニナルノハ都長官ヲ官選ニスルガ宜イトカ惡ルイトカ云フコトノミニ汗ヲ流シテ御覽ニナルノデ、此案ノソレガ一ツノ要點デアリマスケレドモ、市長トカ都長官トカ云フ者ヲ官吏ニサヘスレバ百事已ムト云フヤウナソシナ簡單ナ意見デ之ヲ持出シタノデハ無イ、今日ノ東京市ト云フモノガ知事ノ下ニ在ッテ餘リ監督ノ階級ガ煩雜デアアルカラシテ、之ヲ大キク東京都ト云フモノニシテ、政府直接ノ監督ノ下ニ置カウデハナイカ、府及府知事ノ監督ノ下ヲ離レテ之ヲ獨立サセヤウデハナイカト云フコトガ此案ノ骨子ノ考デアルト云フコトヲ發議ノ當時ニ述ベテ置キマシタガ、ソレハ如何デゴザイマス、ソレモイカヌト仰シヤルカ、又ドウモ自治制ヲ施イテアル結果ヲ見マスルニ、參事會ナルモノガ細カキ行政ノ處分ノ擔任者トシテ、而シテソレガ會議體ニ依ッテ僅カナル行政處分ヲ

爲シツ、アルト云フコトハ、事、正直ニ行ハレルト言ッテモ、手續ガ煩雜ニ過ギルガ、況ヤ或ハ其間ニ言フベカラザル弊害ガアツタ時ニ於テハ、タゞ事ガ滯滯スルノミナラズ、行政ノ責任者トサウシテ之ヲ評議スル所ノ機關ト云フモノガ一ツニナツテ居ルト云フコトハ甚ダ宜シクナイ制度デアアルカラ、之ヲ分ケタイト云フコトガ大趣意デアルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、其點ニ就イテ一言ノ御賛否ノ御意見ガ無イ、御賛否ノ御意見ガ無イノデハナイ、全ク今日ノ通りガ宜シイト仰シヤル、園田君ノ如キハ斷然今日ノガ宜シイト斷言スルト斯ウ仰シヤル、其他、都會ノ權限ノコトニ致シマシテモ、或ハ選舉其他ノ手續ニ對スル規定デゴザイマシテモ、注意ニ注意ヲ加ヘ、數年間我々ハ多少腦漿ヲ絞ッテ此案ヲ起草シ、賛成シ來ッタノデアアルガ、何カ一概ニ今日ノガ宜シイト云フヤウナ御案デアツテハ、是カラ先キ或ハ市制ヲ改良スルトカ、町村制ヲ改正スルトカ、或ハ其他ノ事ナドニ付イテハ絕對ニ諸君ハ意ガ無イト言ハナケレバナラス、ソシテ御意見デアリマセウカ、私ハサウデハ無イト思フ、昨年御反對ノ……昨年御賛成ノ人ガ今年御反對ニナラタト云フコトハ、是ハ銘々意見ガ毎年違ッタ所ガ何デモナイ、定メシ御意見ノ進歩デアリマセウ、ソレハ過チヲ知ッテ改メルノデアアルカラ公明正大デアアル、ケレドモ德義上ニ考ヘテ御覽ナサイ、昨年ハ此案ニ賛成シテ居ッタガ、今年ハ賛成ガ出來ヌ、反對ダト云フナラバ、何カ昨年ト今日トハ事情ニ於テ斯ウ云フ事ガ違ッテ居ルトカ、理窟ニ於テ斯ウ云フ事ガ違ッテ居ルトカ、自分ハ斯ウ思ッタガ其理窟ハ間違ッテ居ッテ是ガ本當デアルトカ何トカ理由ガアリサウナモノデアアル、ネエ、何トカ理由ガアリサウナモノデアアルノニ、ソレハ理由ハ仰シヤラヌデモ宜シイケレドモ、全體德義上ソコニ理由ガアリサウナモノデアアル、ソレヲ唯手ヲ拱イテ昨年ハ賛成ラシタガ今年ハ反對ダト云フヤウナコトデ平氣デ居ラレルト云フノハ、チヨット協カラ見ルト不思議ニ思ハレマス、ソレデソコラハ唯一部ニ當ル議論デアリマス、且ツ一番面倒デアアルノハ選舉云々トカ云フコトデ、自治制ノ講釋等ハ鎌田君カラ誠ニ明瞭ナ御辯舌ヲ以テ御述べニナリマシタ、承リマシタ、私ガ多少選舉云々ナド、云フコトヲ申シタノハ言葉ガ惡ルカッタカモ知レマセヌヨ、自分デハ惡ルイコトヲ言ッタトハ悟リマセヌケレドモ、若シソシナコトガアレバ、ナアニ案ノ爲ナラバ頭ヲ下ゲテモ、取消シテモ宜イデスガ、ドウ云フ事ガ惡ルカッタカドウモ分リマセヌガ、一向御非難ハ強ヒテ私ハ辯解スルノデハナイ、サリナガラ是ダ

ケノコトハ能ク御了承ヲ願ヒタイ、自治制ノ大切ナルコトハ諸君ハ御承知デアル、自治制ノ意味ヲ御承知デアルガ、固ヨリ諸君ハ御承知デアリマセウガ、或ル一部ノ人ハ御承知デアルヤ否ヤ、自治制ノ大切ナルコトハ立憲政體ノ卵デアルト云フ意味ニ於テ大切デアルノデアル、自治制トハ何デアルカ、他ニ定義ノシヤウハアリマスマイ、人民ガ誠意誠實ニ、誠意忠實ニ公ケノ爲ニ私ヲ棄テ、之ニ從フト云フコトヲ前提トシテ、條件トシテ與ヘラレタル制度デアリマス、誠意誠實ニ公ケノ爲ニ此權利自由ヲ用キルト云フコトノ條件附デ與ヘラレタルモノデアリマス、若シ誠意誠實ニ公ケノ爲ニ盡スト云フ條件ヲ棄テ、自己ノ利害、一身上ノ利害若クハ自己ノ屬スル或ル私ノ團體黨派等ノ利害ノ爲ニ此自由權利ヲ用キルト云フコトデアッタナラバ、自治制ノ條件ガ廢ツテ居ルノデアル、進シテ言ヘバ立憲政體ノ條件ガ廢ツテ居ルノデアル、識者ノ立憲政體ノ前途ニ付イテ疑ヲ懷クハ全ク此點デアリマス、立憲政體ヲ施キ及自治制ヲ施クトキノ考ヘト云フモノハ、人民ト云フモノハ公平ナモノデアル、忠實ナ者デアル、愛國ノ精神ヲ以テ公ケニ殉スルト云フ精神ノアル者デアル、故ニ之ニ政治ニ參與スル權ヲ與ヘタナラバ、是ガ即チ奉公忠誠ノ精神ヲ以テ國務ヲ議スルデアラウト云フコトヲ想像シテ、ソレデ憲法ヲ拵ヘタ、自治制ヲ拵ヘタ、所ガヤツテ見ルト、ナカノ一サウイカス、矢張り立法者モ幾分カ見識ノ短カッタコトヲ白狀シナケレバナラヌノデアル、兎角此條件デ與ヘラレタル所ノ權利ヲ其條件以外ノコトニ用キル、先刻鎌田サンデシタカネ、何カノ疑ニ私ノ言葉ヲ御辯駁ナサルニ權利ガ刀デアルトカ何トカ仰シヤイマシタガ、ヒヨット私ハ思ヒ出シタ、實ニ選舉ト云フコトノ大切ナルコトハ鎌田君ヨリ私ノ方ガ感じテ居ルコトガ強カラウト思フ、選舉ヲ輕ンズルト云フヤウナコトハ今日立憲治下ノ人民トシテ立ッテ居ルコトハ出來ナイ、選舉ハ立憲治下ノ人民ノ魂デアアル、立憲ノ人民ノ魂ハ選舉ニアリト思フ、自治ノ人民ノ魂ハ選舉ニアルト思フ、恰モ古ヘノ士ノ魂ハ腰ニ差シテ居ル二本ノ刀ニアリト云フガ如キモノデアアル、併ナガラ士ノ腰ニ二本ノ利刀ヲ差シテ居ルト云フコトハ何ノ意味デアリマスカ、選舉權ヲ有スルト云フコトハ何ノ意味デアアルカ、先刻モ鎌田サン自身ガ喩ヘテ御引キニナッタ通り是ハ士ニ其利刀ヲ引拔イテ人デモ威シテ脅嚇デモシテ金錢デモ取ルコトヲ許ス爲ニ與ヘタモノデナイ、是ハ忠誠ニ君國ノ爲ニ……君國ヲ護ル……君國ヲ護ルト云フコトノ條件ノ爲ニ與ヘラレタル刀デアアル、無論之ヲ差シ之ヲ抜クハ權利デアアル

ケレドモ國ノ爲メ君國ヲ保護スル爲ニ與ヘラレタルノデアル、然ルニ士ガ其與ヘラレタル刀ハ自己ノ權利デアアルカラト云ウテ私曲ヲ行ッタリ刀ヲ抜イテ人ヲ威シテ脅迫シテ色々惡ルイコトヲスル用ニ用キタリ、或ハ仲間同士デ爭鬭ヲスル爲ニ用キタナラバ如何デアリマセウ、全ク是ハ士ニ刀ヲ差サシタ條件ニ戻ルノデアアルカラシテ、ソレデソレハドウモ何トモ仕様ガナイ、若シ左様ナ有様ニナレバ據ロナク廢刀論ヲ起サナケレバナラヌ、私ハ此際決シテ自治制度ニ向ッテ廢刀論ヲ唱ヘルノデハナイ、選舉ト云フコトハ今モ申ス通り忠誠ナリ奉公ノ精神ヲ以テ行フニアザレバ選舉ハ選舉デナイノデアル、之ヲ與ヘテ置ク目的ハ適ハナイノデアル、今日ノ東京市民……ト云ウテ人ノコトデナイ皆我々自分ノ話デアリマスケレドモ、ドウモ此意ガ徹底シテ居ラヌモノデアアルカラシテ、全ク腐敗シテ居ル……トハ申サスガ、與ヘラレタル選舉權ハ何ノ爲ニ有ッテ居ルノヤラ、能クソレヲ理解シナイモノデアアルカラ、何カ自分ノ所屬ノ人ニ……自分ノ朋友ニ恩ヲ賣ル爲ニ用キテ見タリ、或ハ人ニ脅迫サレテ據ロナクソレニ依ッテヤルトカ、或ハ甚シキニ至ッテハ賣買ヲシタリ、種々ナコトヲスルヤウナモノガ澤山アル世ノ中デハ、ドウシテモ選舉ノ本來ノ目的ガ立タヌト斯ウ云フノデアル、分リマシタカ、私ハ決シテ選舉其モノヲ輕侮スルヤウナコトヲ言フノデハナイ、唯選舉ハ利刀ト同ジコトデアアル、唯選舉權サヘ與ヘレバ宜イ、選舉權サヘ有ッテ居レバ宜イト云フノデハナイ、君國ヲ護ル爲ノ手段トシテノ刀デアアル、誠實ニ國家ノ爲ニ盡スコトノ出來得ル爲ニ與ヘラレタル選舉デアル、之ヲ其目的ニ用キルナラバ縦シ剝ガレテモ差支ナイ、併シ今日決シテ剝ガウト云フノデハナイ、市會ノ選舉、市參事會ノ選舉、總テノコト、此選舉ヲ土臺ニ置イテ、此都制案ガ出來テ居ル、而シテ何ユエ都長官ヲ官選ニスルカト云フコトノ問題ニ至ッテハ屢、述べマシタ通り唯今モ江木君ガ條文ニ付イテ述べタ通りニ是ハ唯今日ノ市長ヲ官選ニスルト云フヤウナ單純ナコトニ御考ヘニナルノハ……知ッテ仰シヤルノカ知ラズニ仰シヤルニシテモ、コチラデ口ヲ酸クシテ辯明シテモ徹底セヌヤウデアアルガ、決シテサウデハナイノデアル、今日ノ市長ヲ官選ニシテ、ソレデ御前方ハ満足カト云ハレテモ決シテ満足デハナイ、都制ヲ施キタイ、都制ナルモノヲ施クト種々仕組ガ今日ト違ッテ來ルカラシテ、都ノ長官ト云フモノハ手短カニ云ヘハ府知事ノ職モアリ今日ノ市長ノ職モアリ、加之都ノ權力モ益、廣クナルコトヲ希望スルカラシテ自治ノ事務モ煩雜ニナルト同時ニ

國ノ事務ヲモ之ニ依ッテ行フコトガ多クナリ、且ツ重クナルデアラウ、其時ニ至ッテ此モノハ半バハ中央……國ノ機關タル働キモセネバナラス、半バハ東京都タル自治ノ團體ノ代表ヲモセネバナラス、斯ノ如キ地位デアアルカラシテ今日ノ勢ヒ選舉權ノ行使ガ未ダ十分安心スルニ至ラザル時代デアアルカラシテ、是ハ大權ニ依ッテ御選擇ニナツタ方ガ適當ナ者ガ得ラル、デアラウ、斯ウ云フ意味デアリマス、ソレデソナニアナタ方ガ仰シヤルヤウナ是ガ意味ノ無イ案デハナイト思フ、ツイ興ニ乗ジテ喋ベリ過ギマシテ甚ダ恐縮ノ至リデアリマスケレドモ、熱心ノ餘リデアリマスカラ……又言葉ガ過マッテ居リ不當ナコトガアッタラ幾重ニモ謝シマス、熱心ニ之ヲ希望スル所ヲ御酌取リ下スツテ言葉ニ拘ラズ此案ノ御賛成ヲ祈リマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 最早發言モ無イト認メマスカラ本案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、採決ノコトニ付キマシテ記名投票ヲ要求セラレタ諸君ト、無記名投票ヲ要求セラレマシタ諸君ガゴザイマスカラ、其事ヲ最初ニ決定イタシタウ存ジマス

○平山成信君 チョット伺ッテ置キマスガ、記名投票ヲドナタガ要求ニナリ、無記名投票ノ請求者ハドナタデゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ要求者ハ船越男爵始メ定規ノ賛成者ガアリマス、無記名投票ノ要求ハ西五辻男爵其他定規ノ賛成者ガゴザリマス

○平山成信君 分リマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ヲ以テ決スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票説ガ多數ト認メマス、記名投票ハ先日來ノ通りニ御席ヘ書記官ヲ出シマスカラ、其書記官ニ投票ヲ御渡シテ請ヒマス、念ノ爲ニ申上ゲマスガ、記名投票デアリマスカラ御名刺ハ御渡シニ及ビマセヌ、三案トモ議題ニ供シマシテ、三案トモ二讀會ニ移スベシトセラル、諸君ハ白色票、二讀會ニ移スベカラズトスル諸君ハ青色票ヲ御渡シテ請ヒマス

〔書記官投票ヲ集ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票漏レハゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ申上ゲマス、投票總數二百一、白色票即チ第二讀會ニ移スベシトスル者百四十三、青色票即チ第二讀會ニ移スベカラズトスル者五十八、故ニ本案ハ第二讀會ヲ開クベキモノト決シマシタ

〔參照〕

賛成者氏名

侯爵佐竹 義生君	侯爵大炊御門幾麿君	侯爵花山院 親家君
伯爵正親町 實正君	伯爵大原 重朝君	伯爵萬里小路通房君
子爵渡邊 昇君	男爵北垣 國道君	子爵曾我 祐準君
子爵伏原 宣足君	子爵堤 功長君	子爵裏松 良光君
子爵唐橋 在正君	子爵野宮 定穀君	子爵戸田 忠行君
子爵一柳 末德君	子爵大宮 以季君	子爵堀田 正養君
子爵井伊 直安君	子爵内田 正學君	子爵山口 弘達君
子爵大久保 忠順君	子爵大田原 一清君	子爵鍋島 直虎君
子爵牧野 貞寧君	子爵鍋島 直柔君	子爵鳥居 忠文君
子爵京極 高德君	子爵松平 康民君	子爵新莊 直陳君
子爵久留島 通簡君	子爵黒田 和志君	子爵實吉 安純君
子爵關 博直君	子爵本多 忠敬君	子爵土御門 晴榮君
子爵舟橋 遂賢君	子爵持明院 基哲君	子爵毛利 元忠君
子爵樋口 誠康君	子爵梅小路 定行君	子爵稻垣 太祥君
子爵三島 彌太郎君	子爵入江 爲守君	子爵松平 容大君
子爵松平 直平君	子爵松平 直德君	子爵青木 信光君
子爵有馬 賴之君	子爵牧野 忠篤君	子爵酒井 忠亮君
子爵永井 尚敏君	子爵本莊 宗義君	子爵伊集院 兼知君
子爵堀河 護麿君	子爵松平 直敬君	子爵細川 立興君
子爵前田 利定君	子爵松平 親信君	子爵森 清君
子爵水野 直君	男爵辻 新次君	男爵野村 素介君
男爵松平 正直君	淺田 德則君	男爵船越 衛君
男爵調所 廣丈君	男爵周布 公平君	長谷部 辰連君
小牧 昌業君	田中 芳男君	平山 成信君

男爵高木兼寛君	男爵菊池大麓君	男爵野田裕通君
服部一三君	男爵石黒忠恵君	田邊輝實君
男爵木梨精一郎君	男爵久保田讓君	山川健次郎君
山縣伊三郎君	江木千之君	大澤謙二君
高崎親章君	男爵田健治郎君	男爵武井守正君
男爵中村雄次郎君	男爵吉川重吉君	男爵眞田幸世君
石井省一郎君	西村亮吉君	谷森眞男君
三宅秀君	湯地定基君	南郷茂光君
古市公威君	山田爲暄君	奥山政敬君
岡田良平君	野崎啓造君	一木喜徳郎君
關清英君	湯地定監君	石黒五十二君
山田春三君	得能通昌君	仁尾惟茂君
石渡敏一君	穂積八束君	高木豐三君
馬屋原二郎君	下條正雄君	河島醇君
高橋新吉君	伊澤修二君	秋月新太郎君
田島竹之助君	清瀬善三君	大庭長九郎君
細谷巖太郎君	大谷嘉兵衛君	宮本谷藏君
谷新助君	橋本雄造君	岡谷惣助君
絲原武太郎君	松村脩平君	廣海二三郎君
松村時次君	淺野長太郎君	本間千代吉君
濱口吉右衛門君	辰巳樽太郎君	並木和一君
鳥越貞敏君	土居通博君	道源權治君
日高榮三郎君	下郷傳平君	伊藤長次郎君
河田與惣左衛門君	保阪潤治君	
反對者氏名		
侯爵徳川頼倫君	伯爵柳澤保恵君	伯爵大木遠吉君
伯爵柳原義光君	伯爵松平頼壽君	松岡康毅君
子爵板倉勝達君	宮本小一君	男爵岡内重俊君
男爵北畠治房君	男爵千家尊福君	男爵園田安賢君
男爵茨木惟昭君	男爵關義臣君	男爵佐野延勝君
男爵中川興長君	男爵藤枝雅之君	男爵小野尊光君

男爵金子有卿君	男爵北島齊孝君	男爵高千穂宣麿君
男爵杉溪言長君	男爵南光利君	男爵南岩倉具威君
男爵平野長祥君	男爵高崎安彦君	男爵紀俊秀君
男爵山内豐政君	男爵小早川四郎君	男爵青山元君
男爵河邊博長君	男爵藤大路親春君	男爵若王子文健君
男爵千秋季隆君	男爵北大路實信君	男爵尙順君
男爵伊丹春雄君	男爵中島久万吉君	男爵島津忠欽君
男爵長松篤葉君	男爵小原適君	男爵淺野守夫君
男爵本多政以君	男爵清水資治君	男爵二條正麿君
鮫島武之助君	磯邊包義君	室田義文君
安樂兼道君	岡野敬次郎君	加藤正惠君
村岡淺右衛門君	鎌田榮吉君	加藤宇兵衛君
市川文藏君	久保市三郎君	杉下太郎右衛門君
森廣三郎君		

○男爵松平正直君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
〔賛成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、三案トモ全部ヲ問題ニ供シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 原案御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○男爵松平正直君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……
〔賛成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認マス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リ
デ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 明日ハ一日休會ヲ致シマシテ明後日開會ヲ致シマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午後三時十九分散會